JPN

Canon

操作ガイド（応用編）

Satera MF6570



ご使用前に必ず本書をお読みください。
将来いつでも使用できるよう大切に保管してください。

取扱説明書の分冊構成について

- 製品の設定方法
- ソフトウェアのインストール

スタートアップガイド

- 各種機能の基本操作
- メンテナンス
- 各種機能の設定
- 仕様

操作ガイド（基本編）

- 各種機能応用操作
- ネットワーク／リモート UI
- システムモニタ
- 各種レポート／リスト
- 困ったときには

操作ガイド（応用編）（本書） CD-ROM

- スキャナの操作方法

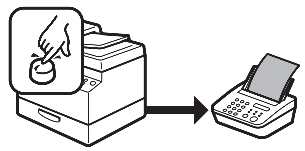
スキャナドライバガイド CD-ROM

CD-ROM このマークが付いているガイドは、付属の CD-ROM に含まれている PDF マニュアルです。

- PDF 形式のマニュアルを表示するには、Adobe Reader/Adobe Acrobat Reader が必要です。ご使用のシステムに Adobe Reader/Adobe Acrobat Reader がインストールされていない場合は、アドビシステムズ社のホームページからダウンロードし、インストールしてください。
- 本書は、改良のため画面等は予告なく変更されることがあります。正確な仕様が必要な場合はキヤノンまでお問い合わせください。
- 本書に万一ご不審な点や誤り、または記載漏れなどお気付きのことがありましたら、ご連絡ください。
- 本書の内容を無断で転載することは禁止されています。

こんなことができます

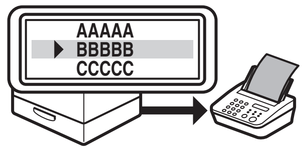
ボタン一つで相手先を指定する



ワンタッチダイヤル

→ 操作ガイド（基本編）

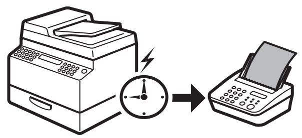
相手先を検索する



宛先表からのダイヤル

→ p. 1-2

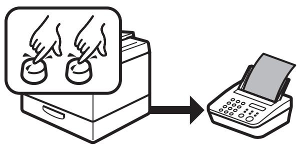
時間を指定してファクスを送る



タイマー送信

→ p. 1-13

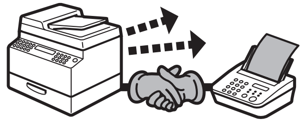
2 桁の番号で相手先を指定する



短縮ダイヤル

→ 操作ガイド（基本編）

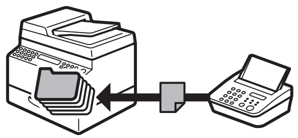
通話中の場合かけなおす



自動リダイヤル

→ p. 1-3

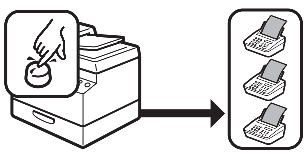
ファクスをプリントしないでメモリに受信する



メモリ受信

→ p. 1-9

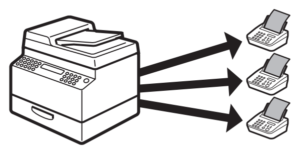
ボタン一つで複数の相手先を指定する



グループダイヤル

→ 操作ガイド（基本編）

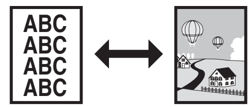
複数の相手先にファクスを送る



同報送信

→ p. 1-13

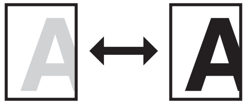
原稿の種類に合わせて、画質を調節する



コピー画質の調節

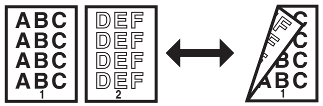
→ 操作ガイド（基本編）

原稿の読み取り濃度を調節する



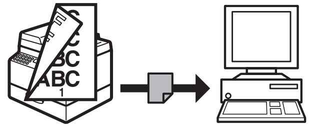
読み取り濃度の調節
→ 操作ガイド（基本編）

両面にコピーする



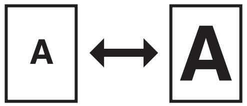
両面コピー
→ p. 2-3

画像に合わせてスキャナを設定する



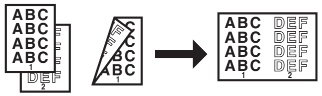
スキャン
→ スキャナドライバガイド

コピーサイズを拡大・縮小する



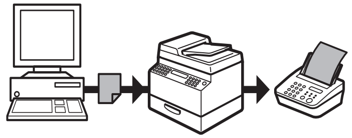
拡大／縮小コピー
→ 操作ガイド（基本編）

2枚の原稿を1枚の用紙にコピーする



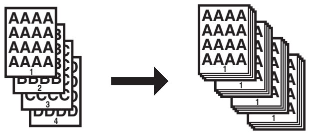
2 in 1
→ p. 2-5

コンピュータからファクスを送信する



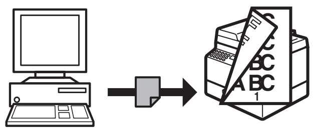
PC ファクス
→ オンラインヘルプ

ページ順に並べる



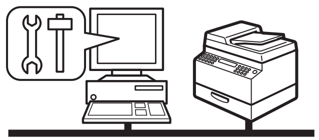
ソートコピー
→ p. 2-2

コンピュータからプリントする



プリント
→ オンラインヘルプ

コンピュータから本製品を管理する



リモート UI
→ p. 4-1

目次

ファクス 1
コピー 2
ネットワーク 3
リモート UI 4
システムモニタ 5
各種レポート／リスト 6
困ったときには 7
付録 8
目次
索引

ファクス 1
コピー 2
ネットワーク 3
リモート UI 4
システムモニタ 5
各種レポート／リスト 6
困ったときには 7
付録 8

目次
索引

ファクス 1
コピー 2
ネットワーク 3
リモート UI 4
システムモニタ 5
各種レポート／リスト 6
困ったときには 7
付録 8
目次
索引

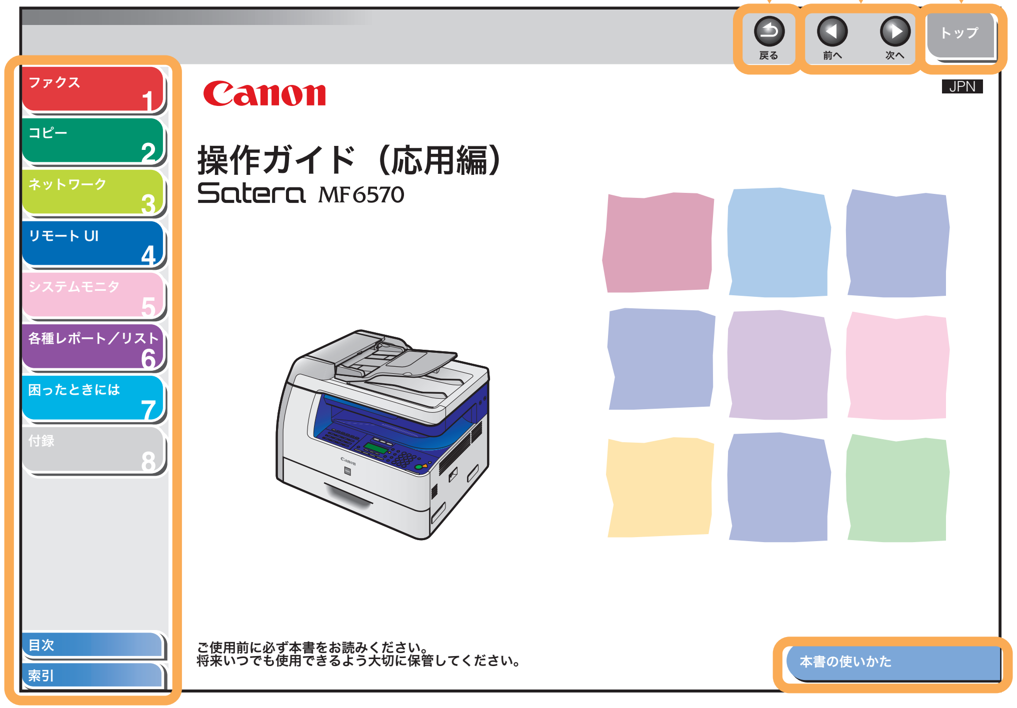
本書の使いかた

■ トップページについて

一つ前に表示したページに戻ります。

前のページまたは次のページを表示します。

トップページに戻ります。



「本書の使いかた」のページを表示します。

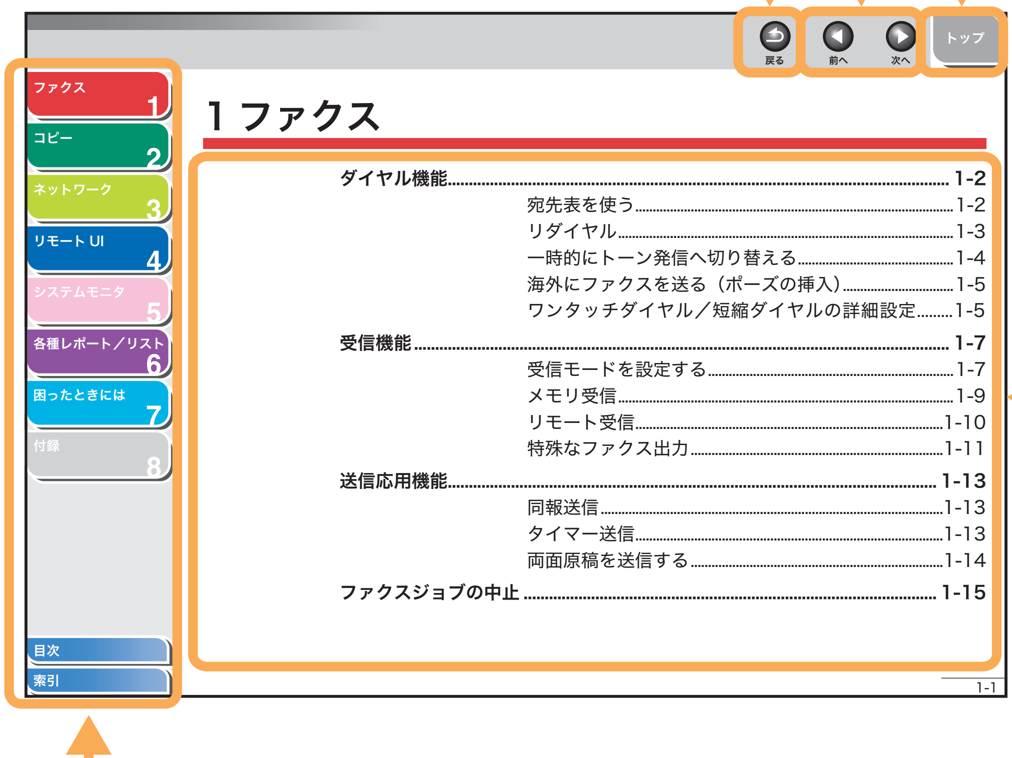
クリックすると、それぞれの章や目次、索引ページを表示します。

章扉について

一つ前に表示したページに戻ります。

前のページまたは次のページを表示します。

トップページに戻ります。



章の目次が記載されています。

クリックすると、それぞれの章や目次、索引ページを表示します。

ファクス 1
コピー 2
ネットワーク 3
リモート UI 4
システムモニタ 5
各種レポート／リスト 6
困ったときには 7
付録 8
目次
索引

本書では、安全のためにお守りいただきたいことや本製品を使用する上で役に立つ情報に、下記のマークを付けています。

警告
取り扱いを誤った場合に、死亡または重傷を負う恐れのある警告事項が書かれています。

注意
取り扱いを誤った場合に、傷害を負う恐れや物的損害が発生する恐れのある注意事項が書かれています。

メモ
操作上、必ず守っていただきたい重要事項や制限事項が書かれています。

また本書では、操作するキー、ディスプレイに表示されるメッセージ、コンピュータ画面上のボタンや項目を以下のように表記しています。

- キー名称：[ストップ]
- ディスプレイ：<送信>
- コンピュータ画面上のボタンおよび選択項目：[詳細設定]

商標および著作権について

商標について

Canon、Canon ロゴ、Satera、および NetSpot はキヤノン株式会社の商標です。
Microsoft および Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
その他、本書中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。

著作権について

免責事項

本書の内容は予告なく変更することがありますのでご了承ください。
キヤノン株式会社は、ここに定める場合を除き、市場性、商品性、特定使用目的の適合性、または特許権の非侵害性に対する保証を含め、明示的または暗示的にかかわらず本書に関していかなる種類の保証を負うものではありません。キヤノン株式会社は、直接的、間接的、または結果的に生じたいかなる自然の損害、あるいは本書をご利用になったことにより生じたいかなる損害または費用についても、責任を負うものではありません。

1 ファクス

ダイヤル機能

本製品には宛先表、リダイヤル、一時的なトーン発信への切り替え、ポーズの挿入、スピードダイヤルなどのダイヤル機能があります。

■ 宛先表を使う

宛先表を使うと、登録済みの相手先名称から検索してダイヤルできます。登録されているワンタッチダイヤルや短縮ダイヤル番号、グループダイヤル番号を思い出せないときに便利です。

1. ［ファクス］を押します。

2. ［宛先表］を押します。

番号が登録されていない場合は<未登録です>が表示されます。

3. テンキーを使って、検索する相手先の名前の最初の文字を入力します。

- 例えば、「キ」で始まる名前を検索する場合は、［2］（ｶ　ABC）を1回または2回押します。
- 入力した文字で始まる名前が登録されている場合は、名前が表示されます。
- ［＊］を押すと入力モードが切り替わります。
  ［：ア］：カナ入力
  ［：A］：アルファベット入力
  ［：1］：数字入力

例）

```
宛先表                :ｱ
ｷﾔﾉﾝ
```

4. ［◄−］または［+►］を押してダイヤルする相手先の名前を表示します。

- ［+►］を押すと、相手先の名前が五十音順に表示されます。
- ［◄−］を押すと、逆の順序で表示されます。

5. ダイヤルする相手先が表示されたら、［OK］を押します。

6. ［スタート］を押してダイヤルします。

原稿台ガラスに原稿をセットした場合は、［◄−］または［+►］を押して原稿サイズを選択し、原稿1枚ごとに［スタート］を押します。すべての原稿の読み込みが完了したら、［OK］を押します。

メモ

ADF使用時、<ファクス仕様設定>の<送信機能設定>で<ダイヤルタイムアウト>が<する>に設定されている場合は、設定時間が過ぎると［スタート］を押さなくても自動的にダイヤルされます。

ファクス 1
コピー 2
ネットワーク 3
リモート UI 4
システムモニタ 5
各種レポート／リスト 6
困ったときには 7
付録 8

■ リダイヤル

手動リダイヤルと自動リダイヤルがあります。自動リダイヤルでは、リダイヤルの回数と間隔を設定することができます。

手動リダイヤル

1. ［ファクス］を押します。
2. ［リダイヤル］を押すと、テンキーで最後にかけた番号にダイヤルできます。
   手動リダイヤルをキャンセルするには、［リセット］を押します。
3. ［スタート］を押してダイヤルします。
   原稿台ガラスに原稿をセットした場合は、［◄−］または［+►］を押して原稿のサイズを選択し、原稿 1 枚ごとに［スタート］を押します。すべての原稿の読み込みが完了したら、［OK］を押します。

メモ

ADF 使用時、<ファクス仕様設定>の<送信機能設定>で<ダイヤルタイムアウト>が<する>に設定されている場合は、設定時間が過ぎると［スタート］を押さなくても自動的にダイヤルされます。

自動リダイヤル

1. ［初期設定／登録］を押します。
2. ［◄−］または［+►］を押して<ファクス仕様設定>を選択し、［OK］を押します。
3. ［◄−］または［+►］を押して<送信機能設定>を選択し、［OK］を押します。
4. ［◄−］または［+►］を押して<自動リダイヤル>を選択し、［OK］を押します。
5. ［◄−］または［+►］を押して<する>を選択し、［OK］を押します。
6. <リダイヤル回数>が表示されていることを確認し、［OK］を押します。
7. ［◄−］、［+►］またはテンキーを押してリダイヤルする回数を入力し、［OK］を押します。
8. <リダイヤル間隔>が表示されていることを確認し、［OK］を押します。

目次
索引

9. [◄–]、[+►] またはテンキーを押してリダイヤルする間隔（分）を入力し、[OK] を押します。

10. ＜送信エラー時リダイヤル＞が表示されていることを確認し、[OK] を押します。

11. [◄–] または [+►] を押して＜する＞または＜しない＞を選択し、[OK] を押します。

＜する＞：送信エラーが起こった場合に、リダイヤルします。
＜しない＞：送信エラーが起こった場合でも、リダイヤルしません。

12. [ストップ] を押して待受画面に戻ります。

■ 一時的にトーン発信へ切り替える

銀行や航空会社、ホテルなどが提供するプッシュホンサービスの中には、プッシュ回線での利用を前提とするものがあります。本製品がダイヤル回線に接続されている場合は、以下の手順で一時的にトーン信号を送出することができます。

メモ

通話するには、外付け電話機を本製品に接続する必要があります。

1. [ファクス] を押します。

2. [オンフック] を押します。

メモ

ファクス番号を入力する前に、発信音を確認します。発信音を確認する前に番号を入力した場合、通じなかったり、間違った番号にかかったりすることがあります。

3. テンキー、ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤル番号、または宛先表を使って、情報サービスにダイヤルします。

4. 情報サービスの録音メッセージが応答したら、[トーン] を押してトーン発信に切り替えます。

5. テンキーを使って、情報サービスに必要な番号を入力します。

6. ファクスを受信する場合は、[スタート] を押します。

7. [オンフック] を押します。

通信が終了すると、回線は元の設定に戻ります。

■ 海外にファクスを送る（ポーズの挿入）

海外へのファクス送信時、ファクス番号にポーズの挿入が必要な場合があります。

1. **原稿をセットします。**

2. **［ファクス］を押します。**

3. **テンキーを使って国際アクセス番号を入力します。**

国際アクセス番号の詳細については、最寄りの電話会社にお問い合わせください。

4. **必要に応じて［ポーズ］を押し、2 秒間のポーズを入力します。**

例）

```
TEL=123P
```

- ポーズを長くしたい場合は、もう一度［ポーズ］を押すと、2 秒間のポーズが追加されます。
- メニューの設定でポーズの長さを変更することもできます。

5. **テンキーを使って相手先の国番号、エリア番号、ファクス／電話番号を入力します。**

6. **［ポーズ］を押して数字の最後に10秒のポーズを入力します。**

ファクス／電話番号の最後に表示される< P >は 10 秒間のポーズを意味します。

7. **［スタート］を押します。**

■ ワンタッチダイヤル／短縮ダイヤルの詳細設定

本製品のワンタッチダイヤル／短縮ダイヤルに登録してある相手先に、国際送信、送信スピード、および ECM（エラー訂正モード）送信の詳細を設定することができます。

1. **［初期設定／登録］を押します。**

2. **［◄−］または［+►］を押して<宛先表仕様設定>を選択し、［OK］を押します。**

3. **［◄−］または［+►］を押して<ワンタッチダイヤル>か<短縮ダイヤル>を選択し、［OK］を押します。**

4. **ワンタッチダイヤルキーを押すか、［短縮］とテンキー（2桁の番号）を押して相手先を選択し、［OK］を押します。**

［◄−］または［+►］を押してワンタッチダイヤル／短縮ダイヤルの相手先を選択することもできます。

5. [◄−] または [+►] を押して＜詳細設定＞を選択し、[OK] を押します。

6. [◄−] または [+►] を押して＜する＞を選択し、[OK] を押します。

7. ＜国際送信＞が表示されていることを確認し、[OK] を押します。

8. [◄−] または [+►] を押して適切な送信設定を選択し、[OK] を押します。

   ＜国内送信＞：通常はこの設定を選択します。
   ＜国際送信 1-3 ＞：国際送信中に送信エラーが発生した場合は、国際送信 1 から順に試してみてください。

9. ＜送信スピード＞が表示されていることを確認し、[OK] を押します。

10. [◄−] または [+►] を押して送信速度（4800 bps ～ 33600 bps）を選択し、[OK] を押します。

   メモ
   送信エラーが頻繁に起きる場合は、送信速度を下げてください。

11. ＜ECM通信＞が表示されていることを確認し、[OK] を押します。

12. [◄−] または [+►] を押して＜する＞を選択し、[OK] を押します。

   メモ
   相手のファクスが ECM 対応の場合は、送受信中のシステムおよび回線エラーが軽減されます。

13. [ストップ] を押して待受画面に戻ります。

受信機能

必要に応じて受信モードを設定できます。また、メモリ受信機能およびリモート受信機能もあります。

■ 受信モードを設定する

適切なモードについては、スタートアップガイド「ファクス受信の設定」を参照してください。

1. **［初期設定／登録］を押します。**

2. **［◄ –］または［+ ►］を押して<ファクス仕様設定>を選択し、［OK］を押します。**

3. **<受信モード選択>が表示されていることを確認し、［OK］を押します。**

4. **［◄ –］または［+ ►］を押して受信モードを選択し、［OK］を押します。**

<自動>：すべての着信をファクスとして受信します。
< FAX/TEL >：ファクスと電話を自動的に切り替えます。(→ファクス / TEL 詳細設定：P.1-8)
<留守 TEL >：ファクスの場合は自動的に受信し、電話の場合は留守番電話機が用件を録音します。
<手動>：着信に応答しません。手動でファクスを受信してください。

メモ

- < FAX/TEL >または<手動>の場合は、外付け電話機を本製品に接続してください。
- <留守 TEL >の場合は、留守番電話機を本製品に接続してください。

5. **［ストップ］を押して待受画面に戻ります。**

手動で受信する

<受信モード選択>で<手動>を選択した場合は、以下の手順でファクスを受信します。

1. **着信音が鳴ったら、外付け電話機の受話器を取ります。**

2. **ビープ音が聞こえたら［スタート］を押します。**

3. **受話器を置きます。**

ファクス 1
コピー 2
ネットワーク 3
リモート UI 4
システムモニタ 5
各種レポート／リスト 6
困ったときには 7
付録 8
目次
索引

ファクス /TEL 詳細設定

必要に応じて、以下の手順で詳細設定を変更してください。

1. ［初期設定／登録］を押します。
2. ［◄−］または［+►］を押して＜ファクス仕様設定＞を選択し、［OK］を押します。
3. ［◄−］または［+►］を押して＜受信機能設定＞を選択し、［OK］を押します。
4. ［◄−］または［+►］を押して＜ファクス /TEL 詳細設定＞を選択し、［OK］を押します。
5. ＜呼出開始時間＞が表示されていることを確認し、［OK］を押します。
6. ［◄−］、［+►］またはテンキーを押して、本製品が音声通話を着信してから呼出音を鳴らすまでの時間（0 秒～ 30 秒）を選択し、［OK］を押します。

   ファクスを着信した場合は、呼出音は鳴らさずに受信モードに切り替えます。
7. ＜呼出時間＞が表示されていることを確認し、［OK］を押します。
8. ［◄−］または［+►］を使って呼出時間（15 秒～ 300 秒）を選択し、［OK］を押します。
9. ＜呼出後の動作＞が表示されていることを確認し、［OK］を押します。
10. ［◄−］または［+►］を押して、呼出後の本製品の動作を選択し、［OK］を押します。

    ＜受信＞：受信モードに切り替えます。
    ＜終了＞：通信を切断します。
11. ［ストップ］を押して待受画面に戻ります。

■ メモリ受信

トナー切れや用紙切れなどでプリントができない場合、本製品はファクスをメモリに受信します。また、すべてのファクスをメモリに受信し、自動的にプリントしないように設定することもできます。

1. ［初期設定／登録］を押します。

2. ［◄－］または［＋►］を押して＜システム管理設定＞を選択し、［OK］を押します。

3. ［◄－］または［＋►］を押して＜通信管理設定＞を選択し、［OK］を押します。

4. ［◄－］または［＋►］を押して＜メモリ受信設定＞を選択し、［OK］を押します。

5. ［◄－］または［＋►］を押して＜する＞を選択し、［OK］を押します。

メモ

＜しない＞を選択した場合は、メモリに受信したファクスのプリントを開始します。

6. ＜暗証番号＞が表示されていることを確認し、［OK］を押します。

7. テンキーを使って受信用暗証番号（7 桁まで）を入力し、［OK］を押します。

例）

```
暗 証 番 号
1234567_
```

8. ＜レポートプリント＞が表示されていることを確認し、［OK］を押します。

9. ［◄－］または［＋►］を押して＜する＞または＜しない＞を選択し、［OK］を押します。

＜する＞：受信結果レポートをプリントします。
＜しない＞：受信結果レポートをプリントしません。

メモリ受信時刻を設定しない場合は、手順 16 へ進んでください。

10. ＜メモリ受信時刻設定＞が表示されていることを確認し、［OK］を押します。

11. ［◄－］または［＋►］を押して＜する＞を選択し、［OK］を押します。

12. ＜メモリ受信開始時刻＞が表示されていることを確認し、［OK］を押します。

ファクス 1
コピー 2
ネットワーク 3
リモート UI 4
システムモニタ 5
各種レポート／リスト 6
困ったときには 7
付録 8

13. テンキーを使って開始時刻（24 時間制）を入力し、[OK] を押します。

例）

```
メモリ受信開始時刻
        00:00
```

14. ＜メモリ受信終了時刻＞が表示されていることを確認し、[OK] を押します。

15. テンキーを使って終了時刻を入力し、[OK] を押します。

16. [ストップ] を押して待受画面に戻ります。

メモリ受信したファクスをすべてプリントする

1. 「メモリ受信」(→ P.1-9) の手順 1 ～ 3 の操作をします。
2. [◄ –] または [+ ►] を押して＜メモリ受信設定＞を選択し、[OK] を押します。
3. テンキーを使ってメモリ受信暗証番号を入力し、[OK] を押します。
4. [◄ –] または [+ ►] を押して＜しない＞を選択し、[OK] を押します。

■ リモート受信

リモート受信機能を使うと、本製品に接続された外付け電話機からファクスを手動で受信することができます。本製品が離れた場所にある場合、または本製品が使用中の場合に便利です。

メモ

＜共通仕様設定＞の＜スリープ時の消費電力＞が＜低＞に設定されている場合は、この機能は使用できません。

リモート受信 ID を登録する

初期設定リモート受信 ID（初期値：25）を変更する場合は、以下の手順を実行します。

1. [初期設定／登録] を押します。
2. [◄ –] または [+ ►] を押して＜ファクス仕様設定＞を選択し、[OK] を押します。
3. [◄ –] または [+ ►] を押して＜受信機能設定＞を選択し、[OK] を押します。
4. [◄ –] または [+ ►] を押して＜リモート受信＞を選択し、[OK] を押します。
5. [◄ –] または [+ ►] を押して＜する＞を選択し、[OK] を押します。
6. [クリア] を 2 回押して、初期設定リモート受信 ID（初期値：25）を消去します。
7. テンキーを使って新しいリモート受信 ID（0 ～ 9、*、# を使用した 2 桁）を入力し、[OK] を押します。
8. [ストップ] を押して待受画面に戻ります。

目次
索引

ファクスをリモート受信する

1. 着信があったら、外付け電話機の受話器を取ります。
2. テンキーを使って、2 桁のリモート受信 ID を入力し、受信を開始します。

   メモ
   ダイヤル回線に設定されている場合は、[トーン] を押してトーン発信に切り替えてください。

3. 受信が完了したら、受話器を置きます。

特殊なファクス出力

受信画像縮小、両面印刷機能があります。

受信画像の縮小

受信したファクスを縮小してプリントできます。

1. [初期設定／登録］を押します。
2. [◄－] または [+►] を押して<ファクス仕様設定>を選択し、[OK] を押します。
3. [◄－] または [+►] を押して<プリント設定>を選択し、[OK] を押します。
4. <画像縮小>が表示されていることを確認し、[OK] を押します。
5. [◄－] または [+►] を押して<する>を選択し、[OK] を押します。
6. [◄－] または [+►] を押して<画像縮小>または<縮小方向>を選択し、[OK] を押します。

   <縮小方向>を選択した場合は、手順 10 に進んでください。

7. [◄－] または [+►] を押して<自動>または<固定>を選択し、[OK] を押します。

   <自動>を選択した場合は、画像は自動的に縮小されます。手順 9 に進んでください。

8. [◄－] または [+►] を押して縮小率（97%、95%、90%、75%）を選択し、[OK] を押します。
9. <縮小方向>が表示されていることを確認し、[OK] を押します。

10. ［◄－］または［＋►］を押して＜縦のみ＞または＜縦横＞を選択し、［OK］を押します。

    ＜縦のみ＞：縦方向のみ縮小します。
    ＜縦横＞：縦横の両方向を縮小します。

11. ［ストップ］を押して待受画面に戻ります。

両面印刷

受信したファクスを用紙の両面にプリントできます。

1. ［初期設定／登録］を押します。
2. ［◄－］または［＋►］を押して＜ファクス仕様設定＞を選択し、［OK］を押します。
3. ［◄－］または［＋►］を押して＜プリント設定＞を選択し、［OK］を押します。
4. ［◄－］または［＋►］を押して＜両面記録＞を選択し、［OK］を押します。
5. ［◄－］または［＋►］を押して＜する＞を選択し、［OK］を押します。
6. ［ストップ］を押して待受画面に戻ります。

送信応用機能

本製品には、同報送信、タイマー送信、両面ファクス送信があります。

■ 同報送信

1 回の操作で、複数の相手先に同じ原稿を送信できます。

1. **原稿をセットします。**

2. **［ファクス］を押します。**

3. **テンキー、ワンタッチダイヤルキー、短縮ダイヤル番号、または宛先表を使って相手先を入力します。**

メモ

テンキーを使っての入力は、1 件のみです。

4. **手順 3 を繰り返して相手先（最大 124 件）を入力し、［スタート］を押します。**

■ タイマー送信

タイマー送信を使って、指定した時刻に送信を開始できます。

1. **原稿をセットします。**

2. **［ファクス］を押します。**

3. **［タイマー送信］を押します。**

4. **テンキーを使って送信開始時刻を入力し、［OK］を押します。**

- 時刻は 24 時間制で入力します。
- ゼロも含めたすべての番号を入力します。

例）

```
送 信 時 刻 設 定
20：00
```

5. **テンキー、ワンタッチダイヤルキー、短縮ダイヤル番号、または宛先表を使って相手先を入力します。**

最大で 124 件まで入力できます。

6. ［スタート］を押します。

メモ

- ADF 使用時、＜ファクス仕様設定＞の＜送信機能設定＞で＜ダイヤルタイムアウト＞が＜する＞に設定されている場合は、設定時間が過ぎると［スタート］を押さなくても自動的にダイヤルされます。ただし、テンキーを使って相手先を入力した場合は、［スタート］を押すまでダイヤルされません。
- 一時的な停電中（1 時間以内）にタイマー送信の設定時刻になった場合、翌日の設定時刻にファクスが送信されます。

■ 両面原稿を送信する

ADF 内で原稿を自動的に裏返して、両面を読み込むように設定することができます。

1. ADF に原稿をセットします。

2. ［ファクス］を押します。

3. ［両面］を押します。

4. ［◄－］または［＋►］を押して＜左右開き＞または＜上下開き＞を選択し、［OK］を押します。

＜左右開き＞：原稿の表と裏の上下を同じ向きで読み込みます。
＜上下開き＞：原稿の表と裏の上下を逆向きで読み込みます。

5. テンキー、ワンタッチダイヤルキー、短縮ダイヤル番号、または宛先表を使って相手先を入力します。

6. ［スタート］を押します。

すべての設定を取り消して待受画面に戻るには、［リセット］を押します。

メモ

- ＜ファクス仕様設定＞の＜送信機能設定＞で＜ダイヤルタイムアウト＞が＜する＞に設定されている場合は、設定時間が過ぎると自動的にダイヤルされます。ただし、テンキーを使って相手先を入力した場合は、［スタート］を押すまでダイヤルされません。
- 一時的な停電中（1 時間以内）にタイマー送信の設定時刻になった場合、翌日の設定時刻にファクスが送信されます。

ファクスジョブの中止

以下の手順で、処理中のジョブ（送信または受信）を中止します。

1. ［ストップ］を押します。
2. <ストップが押されました>が表示されたら、［OK］を押します。

ｽﾄｯﾌﾟ が押されました
OKｷｰ を押してください

<通信を中止しますか？>が表示されたら、［◄—］を押して<はい>を選択します。

通信を中止しますか？
＜ はい　　　いいえ ＞

メモ

ADF からの送信ジョブを中止した場合は、読み込まれていない原稿をADF から取り出します。

2 コピー

コピー応用機能

■ ソートコピー

コピーをページ順にそろえることができます。この機能は、両面コピー（→ P.2-3）および 2 in 1（→ P.2-5）の機能といっしょに使うことができます。

1. 原稿をセットします。

2. ［コピー］を押します。

メモ
<コピー仕様設定>の<標準モードの変更>で<自動ソート>が<部単位>に設定されている場合は、手順 5 に進んでください。

3. ［ソート］を押します。

4. ［◄ −］または［+ ►］を押して<ON>を選択し、［OK］を押します。

5. テンキーを使ってコピー部数を入力します（1 ～ 99）。

6. ［スタート］を押します。

ADF を使っている場合は、ここで作業は完了です。
原稿台ガラスを使っている場合は、［◄ −］または［+ ►］を押して原稿のサイズを選択し、［OK］を押します。

7. 原稿台ガラスに次のページをセットして、［スタート］を押します。

この手順を繰り返して、すべてのページを読み込みます。

8. ［OK］を押します。

すべての設定を取り消すには、［リセット］を押します。

■ 予約コピー

本製品がプリント中でも、コピー設定と原稿の読み込みができます。作業中のジョブが完了してから、読み込み済みのコピージョブが開始されます。

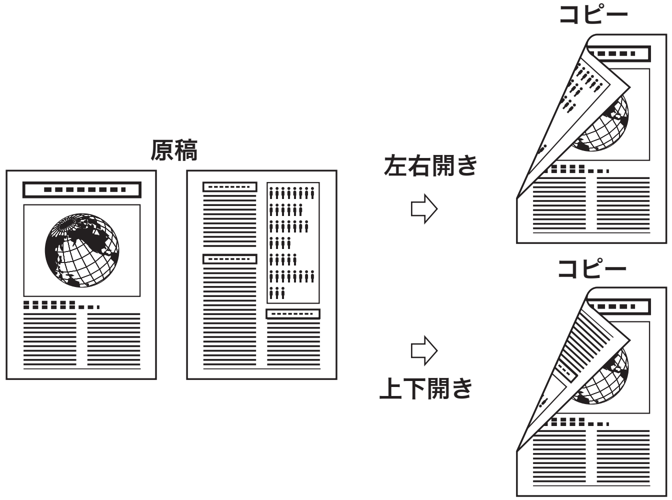
1. **原稿をセットします。**
2. **［コピー］を押します。**
3. **コピーモードとコピー部数（1 ～ 99）を設定し、［スタート］を押します。**

   コピージョブは、最大 5 件まで予約できます。

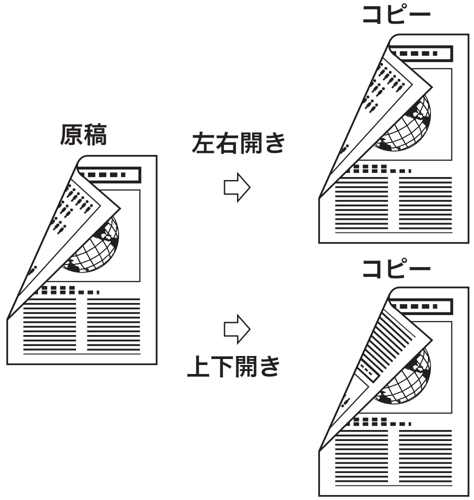
■ 両面コピー

両面コピー機能を使って、片面または両面の原稿から両面コピーをしたり、両面の原稿から片面コピーしたりすることができます。この機能は、「ソートコピー」（→ P.2-2）および「2 in 1」（→ P.2-5）の機能と一緒に使うことができます。

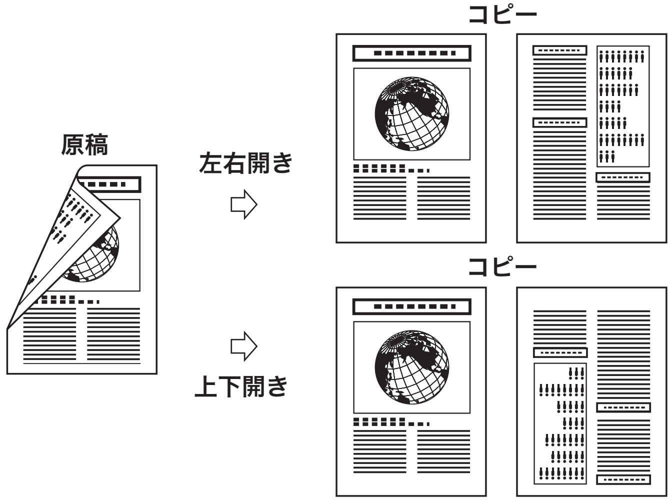
片面から両面へのコピー



両面から両面へのコピー



両面から片面へのコピー



メモ

両面コピーには以下の用紙を使用してください。
- 用紙サイズ：A4（手差しトレイにセットされた LGL および LTR サイズも使用できます。）
- 用紙の重さ：64 ～ 90 g/m^2

ファクス 1
コピー 2
ネットワーク 3
リモート UI 4
システムモニタ 5
各種レポート／リスト 6
困ったときには 7
付録 8

片面から両面にコピーする

片面の原稿から両面コピーします。

1. 原稿をセットします。
2. ［コピー］を押します。
3. ［両面］を押します。
4. ［◄−］または［+►］を押して<片面>両面>を選択し、［OK］を押します。
5. ［◄−］または［+►］を押して<左右開き>または<上下開き>を選択し、［OK］を押します。

   <左右開き>：コピーの表と裏の面の上下を同じ向きにします。
   <上下開き>：コピーの表と裏の面の上下を逆向きにします。
6. ［スタート］を押します。

   すべての設定を取り消すには、［リセット］を押します。

メモ

- 原稿台ガラスに原稿をセットした場合は、原稿 1 枚ごとに［スタート］を押します。すべての原稿の読み込みが完了したら、[OK] を押します。
- 手順 5 は省略することもできます。その場合、<片面>両面>、<左右開き>で両面コピーします。

両面から両面にコピーする

両面の原稿から両面コピーします。

1. 原稿をセットします。
2. ［コピー］を押します。
3. ［両面］を押します。
4. ［◄−］または［+►］を押して<両面>両面>を選択し、［OK］を押します。
5. ［◄−］または［+►］を押して（原稿の）<左右開き>または<上下開き>を選択し、［OK］を押します。

   <左右開き>：原稿の表と裏の面の上下を同じ向きにします。
   <上下開き>：原稿の表と裏の面の上下を逆向きにします。
6. ［◄−］または［+►］を押して（コピーの）<左右開き>または<上下開き>を選択し、［OK］を押します。

   <左右開き>：コピーの表と裏の面の上下を同じ向きにします。
   <上下開き>：コピーの表と裏の面の上下を逆向きにします。
7. ［スタート］を押します。

   すべての設定を取り消すには、［リセット］を押します。

メモ

- 原稿台ガラスに原稿をセットした場合は、原稿 1 枚ごとに［スタート］を押します。すべての原稿の読み込みが完了したら、[OK] を押します。
- 手順 5、6 は省略することもできます。その場合、<両面>両面>、原稿、コピー向きとも<左右開き>で両面コピーします。
- 手順 5 で<上下開き>を選択して、［ スタート ］を押すと、原稿、コピー向きともに<上下開き>で両面コピーします。

目次
索引

両面から片面にコピーする

両面の原稿から片面コピーします。

1. **原稿をセットします。**

2. **［コピー］を押します。**

3. **［両面］を押します。**

4. **［◄－］または［+►］を押して<両面>片面>を選択し、［OK］を押します。**

5. **［◄－］または［+►］を押して<左右開き>または<上下開き>を選択し、［OK］を押します。**

<左右開き>：原稿の表と裏の面の上下を同じ向きにします。
<上下開き>：原稿の表と裏の面の上下を逆向きにします。

6. **［スタート］を押します。**

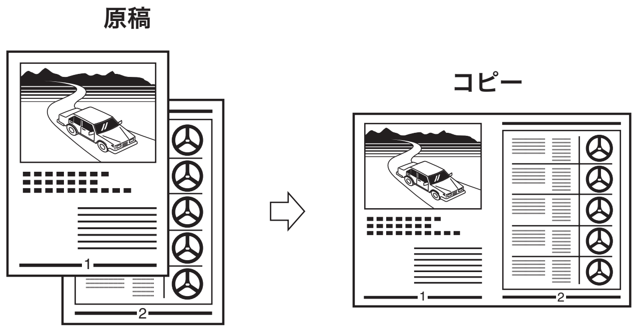
すべての設定を取り消すには、［リセット］を押します。

メモ

- 原稿台ガラスに原稿をセットした場合は、原稿 1 枚ごとに［スタート］を押します。すべての原稿の読み込みが完了したら、[OK] を押します。
- 手順 5 は省略することもできます。その場合、<両面>片面>、<左右開き>で両面コピーします。

■ 2 in 1

2 in 1 を使うと、選択した用紙サイズに合うように 2 枚の原稿を自動的に縮小してコピーすることができます。この機能は、「ソートコピー」(→ P.2-2)および「両面コピー」(→ P.2-3)の機能と一緒に利用できます。



1. **原稿をセットします。**

2. **［コピー］を押します。**

3. **［2 in 1］を押します。**

4. **［◄－］または［+►］を押して<する>を選択し、［OK］を押します。**

5. **［◄－］または［+►］を押して原稿サイズを選択し、［OK］を押します。**

6. **［◄－］または［+►］を押して用紙サイズを選択し、［OK］を押します。**

7. **テンキーを使ってコピー部数を入力します(1～99)。**

8. **［スタート］を押します。**

すべての設定を取り消すには、［リセット］を押します。

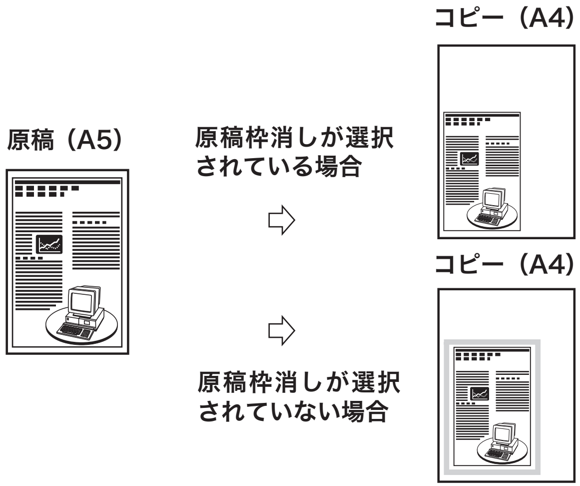
メモ

- 原稿台ガラスに原稿をセットした場合は、原稿 1 枚ごとに［スタート］を押します。すべての原稿の読み込みが完了したら、[OK] を押します。
- 2 in 1 でコピーすると、縮小された原稿間に最大で 2 mm 〜 3 mm の余白ができます。

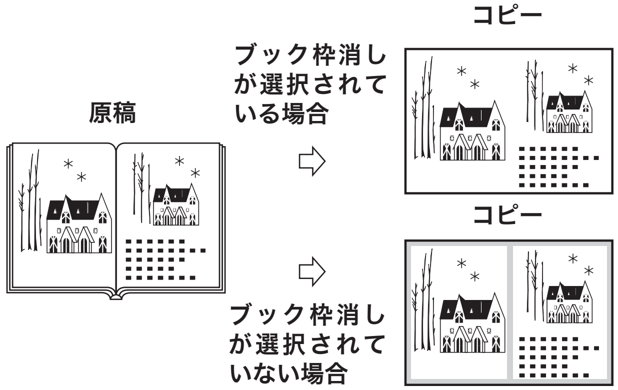
■ 枠消し

いろいろな原稿からコピーするときに現れる影や線を消すことができます。

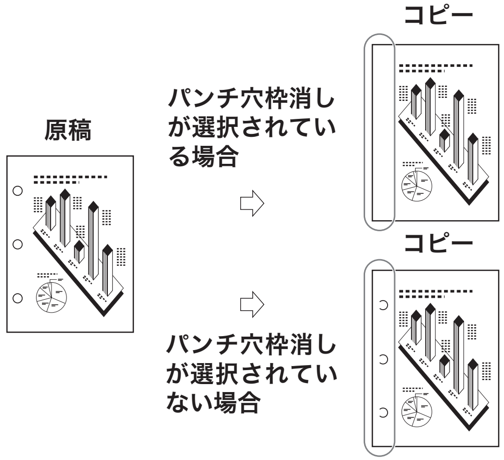
原稿枠消し



ブック枠消し



パンチ穴枠消し



ファクス 1
コピー 2
ネットワーク 3
リモート UI 4
システムモニタ 5
各種レポート／リスト 6
困ったときには 7
付録 8

原稿枠消し

原稿枠消し機能を使って、指定した用紙サイズより小さい原稿をコピーするときに現れる影や線を消すことができます。

1. 原稿をセットします。
2. ［コピー］を押します。
3. ［枠消し］を押します。
4. ［◄－］または［+►］を押して<原稿枠消し>を選択し、［OK］を押します。
5. ［◄－］または［+►］を押して見開き原稿サイズを選択し、［OK］を押します。
6. ［◄－］、［+►］、またはテンキーを押して、4 辺の枠消し幅を設定し、［OK］を押します。

   枠消し幅は 1 mm ～ 50 mm の間で設定します。
7. テンキーを使ってコピー部数を入力します（1 ～ 99）。
8. ［スタート］を押します。

   すべての設定を取り消すには、［リセット］を押します。

ブック枠消し

ブック枠消し機能を使って、本や綴じた原稿などのような両開きのページを 1 枚の用紙にコピーするときに現れる中央の線や重なったページの影、および枠を消すことができます。

1. 原稿をセットします。
2. ［コピー］を押します。
3. ［枠消し］を押します。
4. ［◄－］または［+►］を押して<ブック枠消し>を選択し、［OK］を押します。
5. ［◄－］または［+►］を押して原稿のサイズを選択し、［OK］を押します。
6. ［◄－］、［+►］、またはテンキーを押して、4 辺のブック枠消し幅（全周均一）を設定し、［OK］を押します。

   ブック枠消し幅は 1 mm ～ 50 mm の間で設定します。
7. ［◄－］、［+►］、またはテンキーを押して、ブックの枠消し幅（中央）を設定し、［OK］を押します。

   枠消し幅（中央）は 1 mm ～ 50 mm の間で設定します。
8. テンキーを使ってコピー部数を入力します（1 ～ 99）。
9. ［スタート］を押します。

   すべての設定を取り消すには、［リセット］を押します。

目次
索引

パンチ穴消し

パンチ穴消し機能を使って、パンチ穴の開いた原稿をコピーするときに現れる穴の影を消すことができます。

1. **原稿をセットします。**

2. **［コピー］を押します。**

3. **［枠消し］を押します。**

4. **［◄–］または［+►］を押して<パンチ穴消し>を選択し、［OK］を押します。**

5. **［◄–］または［+►］を押してパンチ穴の位置（<左>、<右>、<上>、<下>）を指定し、［OK］を押します。**

6. **［◄–］、［+►］、またはテンキーを押して、パンチ穴消し幅を設定し、［OK］を押します。**

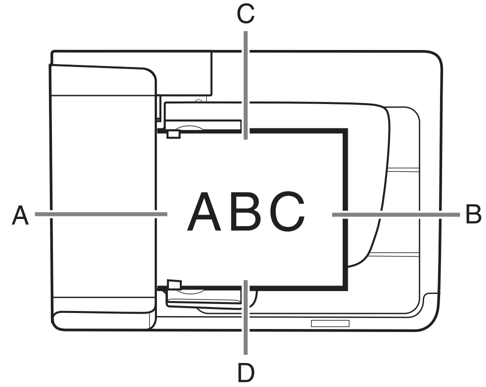
パンチ穴消し幅は 3 mm ～ 20 mm の間で設定します。

7. **テンキーを使ってコピー部数を入力します（1 ～ 99）。**

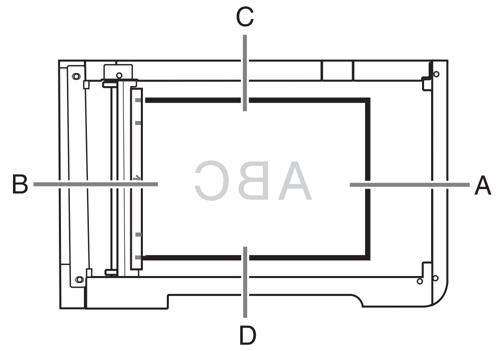
8. **［スタート］を押します。**

すべての設定を取り消すには、［リセット］を押します。

パンチ穴の位置は、以下のイラストのとおりです。



ADF



原稿台ガラス

A：左
B：右
C：上
D：下

コピージョブの中止

以下の手順で、進行中のジョブを中止します。

1. ［ストップ］を押します。

2. <ストップが押されました>が表示されたら、［OK］を押します。

```
ｽﾄｯﾌﾟ が押されました
OKｷｰ を押してください
```

<コピーを中止しますか？>が表示されたら、［◄－］を押して <はい>を選択します。

```
ｺﾋﾟｰ を中止しますか？
＜ はい        いいえ ＞
```

3 ネットワーク

動作環境

コンピュータからのプリントやファクス送信をするには、TCP/IP が使用できるネットワークで以下の動作環境が必要です。

● オペレーティングシステム

- Microsoft Windows 98/98SE
- Microsoft Windows Me
- Microsoft Windows 2000 Server
- Microsoft Windows 2000 Professional
- Microsoft Windows XP Home Edition
- Microsoft Windows XP Professional
- Microsoft Windows Server 2003

● コンピュータ

- Windows 機、IBM PC 互換機

● ウェブブラウザ（リモート UI に必要）

- Microsoft Internet Explorer 5.01 SP1 以降
- Netscape Communicator/Navigator 6.0 以降、ただし Netscape Communicator 6 は除く

メモ

- Windows 98 または Me をお使いの場合は、Service Pack 3 以降をインストールする必要があります。
- 本製品は NetBEUI に対応していません。
- 必要な機器の詳細については、最寄りのキヤノン販売店にお問い合わせください。

TCP/IP ネットワークの設定方法

本章では、TCP/IP ネットワークで本製品を使用するための設定方法について説明します。

1. ネットワークケーブル接続（→スタートアップガイド「ソフトウェアのインストール／アンインストール」）

ネットワークケーブルで本製品をネットワークに接続します。

2. インタフェース設定（→ P.3-5）

本製品とネットワークに接続されたコンピュータ間で通信するために必要なインタフェースを設定します。以下のいずれかを使用して設定できます。

- 本製品の操作パネル
- リモート UI

3. 通信環境の設定（→ P.3-7）

本製品とネットワーク上のコンピュータ間で通信するための設定をします。以下のいずれかを使用して設定できます。

- 本製品の操作パネル
- リモート UI

4. プロトコルを設定する前の作業（→ P.3-10）

本製品とネットワーク上のコンピュータが通信できるように、プロトコルを設定する前に本製品の IP アドレスを設定します。以下のいずれかを使用して設定できます。

- 本製品の操作パネル
- ARP/PING コマンド
- NetSpot Device Installer（付属の CD-ROM に収録されているキヤノンユーティリティソフトウェア）

5. プロトコル設定（→ P.3-16）

本製品のプロトコルを設定します。以下のいずれかを使用して設定できます。

- 本製品の操作パネル
- リモート UI
- NetSpot Device Installer（付属の CD-ROM に収録されているキヤノンユーティリティソフトウェア）

6. プリント／ファクス送信ができるようコンピュータを設定する（→ P.3-22）

プリント／ファクス送信をするすべてのコンピュータに設定します。

インタフェース設定

ETHERNET ドライバ

通信方法と ETHERNET 接続の種類を設定します。

1. **［初期設定／登録］を押します。**

2. **［◄－］または［＋►］を押して<システム管理設定>を選択し、［OK］を押します。**

3. **［◄－］または［＋►］を押して<ネットワーク設定>を選択し、［OK］を押します。**

4. **［◄－］または［＋►］を押して< ETHERNET ドライバ>を選択し、［OK］を押します。**

5. **<自動検出>が表示されていることを確認し、［OK］を押します。**

6. **［◄－］または［＋►］を押して検出方法を選択し、［OK］を押します。**

<自動>：通信モード（半二重／全二重）および ETHERNET の種類（10Base-T/100Base-TX）が自動的に検出されます。手順 11 に進んでください。
<手動>：通信モードと ETHERNET の種類を手動で設定します。

メモ

電源を入れたままネットワークケーブルを再接続する場合（別の ETHERNET ハブにケーブルを接続しなおす場合など）、<自動検出>を<自動>に設定していても、自動検出機能は動作しません。（電源を切った状態でケーブルを接続してください。）

7. **<通信方式>が表示されていることを確認し、［OK］を押します。**

8. **［◄－］または［＋►］を押して通信方式を選択し、［OK］を押します。**

<半二重>：交互に送信／受信します。
<全二重>：同時に送信／受信します。

9. **< ETHERNET の種類>が表示されていることを確認し、［OK］を押します。**

10. **［◄－］また［＋►］を押して ETHERNET の通信種類を選択し、［OK］を押します。**

< 10BASE-T >：10Base-T ネットワーク接続を設定します。
< 100BASE-TX >：100Base-TX ネットワーク接続を設定します。

11. **［ストップ］を押して待受画面に戻ります。**

12. **主電源を入れなおします。**

USB デバイス制限

USB からのジョブを制限できます。

1. ［初期設定／登録］を押します。
2. ［◄－］または［＋►］を押して＜システム管理設定＞を選択し、［OK］を押します。
3. ［◄－］または［＋►］を押して＜ USB デバイスを使用＞を選択し、［OK］を押します。
4. ［◄－］または［＋►］を押して＜する＞を選択し、［OK］を押します。
5. ［ストップ］を押して待受画面に戻ります。
6. 主電源を入れなおします。

通信環境の設定

ここでは、本製品に対応した 2 つのプロトコル、HTTP（Hyper Text Transfer Protocol）および SNMP（Simple Network Management Protocol）について説明します。

HTTP

HTTP を使うと、ウェブインタフェース（リモート UI など）から本製品とコンピュータ間の通信ができます。

1. ［初期設定／登録］を押します。
2. ［◄－］または［+►］を押して<システム管理設定>を選択し、［OK］を押します。
3. ［◄－］または［+►］を押して<ネットワーク設定>を選択し、［OK］を押します。
4. < TCP/IP 設定>が表示されていることを確認し、［OK］を押します。
5. ［◄－］または［+►］を押して< HTTP を使用>を選択し、［OK］を押します。
6. ［◄－］または［+►］を押して<する>を選択し、［OK］を押します。
7. テンキーを使って HTTP ポート番号を入力し、［OK］を押します。
8. ［ストップ］を押して待受画面に戻ります。
9. 主電源を入れなおします。

SNMP

SNMP を使うと、本製品の状態の監視や、本製品の情報の入手が簡単にできます。以下の 2 項目を設定できます。

<コミュニティ名>：
SNMP のコミュニティ名を設定します。コミュニティ名は 2 つまで設定できます。
< SNMP 書込み可能>：
ネットワーク上のコンピュータから本製品にアクセスし、有効になっている設定を変更できます。各コミュニティに対して別々に設定できます。

ファクス 1
コピー 2
ネットワーク 3
リモート UI 4
システムモニタ 5
各種レポート／リスト 6
困ったときには 7
付録 8

1. ［初期設定／登録］を押します。
2. ［◄ー］または［＋►］を押して<システム管理設定>を選択し、［OK］を押します。
3. ［◄ー］または［＋►］を押して<ネットワーク設定>を選択し、［OK］を押します。
4. ［◄ー］または［＋►］を押して< SNMP 設定>を選択し、［OK］を押します。
5. < SNMP を使用>が表示されていることを確認し、［OK］を押します。
6. ［◄ー］または［＋►］を押して<する>または<しない>を選択し、［OK］を押します。

   <する>：本製品の各項目を設定または確認する場合、SNMP を使用するユーティリティで情報を取得します。
   <しない>：SNMP ユーティリティを使用しません。手順 16 に進んでください。
7. テンキーを使ってSNMPポート番号を入力し、［OK］を押します。

   メモ
   - キヤノンプリンタドライバまたはユーティリティをお使いになる場合、< SNMP を使用>および<専用ポート設定>の両方を<する>に設定します。
   - 設定や確認ができるコンピュータの IP アドレスを制限することができます。IP アドレスを制限した場合は、< SNMP を使用>および<専用ポート設定>が<する>に設定されていても、許可された IP アドレスを持つコンピュータ以外からは、リモート UI を使っての設定やコンピュータの詳細情報の表示はできません。(→プロトコル設定 : P.3-16)
8. <コミュニティ名 1 >が表示されていることを確認し、［OK］を押します。
9. テンキーを使って「public」以外のコミュニティ名を入力し、［OK］を押します。
10. <コミュニティ名 2 >を設定する場合は、［OK］を押します。

    設定しない場合は、［＋►］を押して、手順 12 に進んでください。
11. テンキーを使ってコミュニティ名を入力し、［OK］を押します。
12. < SNMP 書込み可能 1 >が表示されていることを確認し、［OK］を押します。
13. ［◄ー］または［＋►］を押して<する>を選択し、［OK］を押します。

目次
索引

14. ＜SNMP書込み可能２＞を設定する場合は、[OK]を押します。

設定しない場合は、手順 16 に進んでください。

15. [◄−] または [+►] を押して＜する＞を選択し、[OK] を押します。

16. [ストップ] を押して待受画面に戻ります。

17. 主電源を入れなおします。

専用ポート

キヤノンプリンタドライバまたはユーティリティを使って、本製品の設定や詳細情報の確認をする場合は、＜専用ポート設定＞を＜する＞に設定します。

メモ

- ＜ SNMP を使用＞および＜専用ポート設定＞の両方を＜する＞に設定します。
- 設定や確認ができるコンピュータの IP アドレスを制限することができます。IP アドレスを制限した場合は、＜ SNMP を使用＞および＜専用ポート設定＞が＜する＞に設定されていても、許可された IP アドレスを持つコンピュータ以外からは、リモート UI を使っての設定やコンピュータの詳細情報の確認はできません。（→プロトコル設定：P.3-16）

1. [初期設定／登録] を押します。

2. [◄−] または [+►] を押して＜システム管理設定＞を選択し、[OK] を押します。

3. [◄−] または [+►] を押して＜ネットワーク設定＞を選択し、[OK] を押します。

4. [◄−] または [+►] を押して＜専用ポート設定＞を選択し、[OK] を押します。

5. [◄−] または [+►] を押して＜する＞または＜しない＞を選択し、[OK] を押します。

＜しない＞：キヤノンプリンタドライバおよびユーティリティは使用しません。
＜する＞：キヤノンプリンタドライバまたはユーティリティを使って、本製品の設定や詳細情報の確認をします。

6. [ストップ] を押して待受画面に戻ります。

7. 主電源を入れなおします。

プロトコルを設定する前の作業

プロトコルを設定する前に、IP アドレスを設定して本製品とコンピュータが通信できるようにする必要があります。以下のいずれかを使用して設定することができます。

- **本製品の操作パネル**
- **ARP/PING コマンド**
- **NetSpot Device Installer（キヤノンユーティリティソフトウェア）**

メモ

- 本項の以下の手順を実行するには、本製品の MAC アドレスが必要です。本製品の操作パネルから MAC アドレスを確認するには、ユーザデータリストを印刷してください。（→操作ガイド（基本編）「第 13 章 各種機能の登録／設定」
- ARP/PING コマンドをお使いになる場合は、以下の手順で本製品に IP アドレスを直接割り当てることができます。本製品に IP アドレスを直接割り当てる方法とは別に、DHCP、BOOTP、RARP を使って IP アドレスを指定する方法もあります。本製品の起動時またはリセット時に、DHCP、BOOTP、または RARP が使用されているかどうかが確認され、最初の利用可能な設定方法で IP アドレスが割り当てられます。このときに本製品の IP アドレスも自動的に割り当てられるので、以下の手順は不要です。ただし、IP アドレスを再度割り当てる場合、または DHCP、BOOTP、RARP が使用できない場合は、以下の手順を実行してください。
- 本製品にアクセスできるコンピュータの IP アドレス範囲を指定して、セキュリティを高めることができます。
  コンピュータの IP アドレス範囲を指定すると、許可されていない IP アドレスを持つコンピュータでリモート UI が使用できなくなり、設定や詳細情報を確認するユーティリティも利用できなくなります。
  本製品にデータ（プリント／ファクスジョブ）を送信できるコンピュータの IP アドレス範囲を指定すると、本製品は許可されていない IP アドレスを持つコンピュータからのデータを受信しません。(→ TCP/IP を設定する:P.3-16)

操作パネルを使って設定する

1. [初期設定／登録] を押します。
2. [◄－] または [＋►] を押して<システム管理設定>を選択し、[OK] を押します。
3. [◄－] または [＋►] を押して<ネットワーク設定>を選択し、[OK] を押します。
4. < TCP/IP 設定>が表示されていることを確認し、[OK] を押します。
5. [◄－] または [＋►] を押して割り当て方法を選択し、[OK] を押します。

   < IP アドレス自動取得>：本製品に IP アドレスが自動的に割り当てられます。
   < IP アドレス>：固定 IP アドレスを割り当てます。手順 9 に進んでください。
6. [◄－] または [＋►] を押して<する>を選択し、[OK] を押します。
7. [◄－] または [＋►] を押してプロトコル（DHCP、BOOTP、またはRARP）を選択し、[OK]を押します。
8. [◄－] または [＋►] を押して<する>を選択し、[OK] を押します。

   手順 14 に進んでください。
9. テンキーを使って IP アドレス番号を入力し、[OK]を押します。
10. <サブネットマスク>が表示されていることを確認し、[OK] を押します。
11. テンキーを使ってサブネットマスク番号を入力し、[OK] を押します。
12. <ゲートウェイアドレス>が表示されていることを確認し、[OK] を押します。
13. テンキーを使ってゲートウェイアドレス番号を入力し、[OK] を押します。
14. [ストップ] を押して待受画面に戻ります。
15. 主電源を入れなおします。

ネットワーク設定を確認する

1. ［初期設定／登録］を押します。
2. ［◄−］または［+►］を押して<システム管理設定>を選択し、［OK］を押します。
3. ［◄−］または［+►］を押して<ネットワーク設定>を選択し、［OK］を押します。
4. ［◄−］または［+►］を押して< IP アドレス確認>を選択し、［OK］を押します。
5. ［◄−］または［+►］を押して< IP アドレス>、<サブネットマスク>、または<ゲートウェイアドレス>を選択し、［OK］を押します。
6. ［ストップ］を押して待受画面に戻ります。

■ ARP/PING コマンドを使って設定する

1. MS-DOS プロンプトまたはコマンドプロンプトを起動します。
2. 以下のコマンドを実行して、ARP テーブルに固定値を登録します。

   arp-s < IP アドレス>< MAC アドレス>
   < IP アドレス>：本製品に割り当てる IP アドレスを指定します。IP アドレスは、「.」で区切られた 0 〜 255 の 4 つの数字で構成されています。
   < MAC アドレス>：本製品の MAC アドレスを指定します。2 桁ごとに「-」で区切ります。
   入力例：arp-s172.20.88.12500-00-85-05-70-31

3. 以下のコマンドを実行して、ネットワークにIPアドレスを設定します。

   ping < IP アドレス> -l479
   < IP アドレス>：上記の手順 2 で指定した IP アドレスを入力します。
   入力例：ping172.20.88.125-l479

メモ

- 「-l」の l は、アルファベットの「l」（エル）です。
- サブネットマスクアドレスは< 255.255.255.0 >に設定され、ゲートウェイアドレスは、< 0.0.0.0 >に設定されます。

■ NetSpot Device Installer を使って設定する

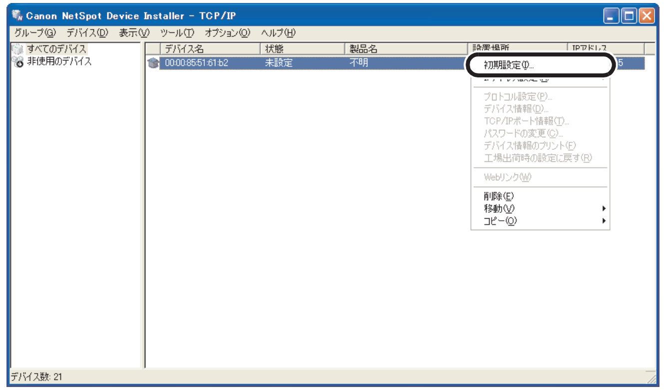
1. 付属のCD-ROMをコンピュータのCD-ROMドライブにセットします。

2. デスクトップの［マイコンピュータ］アイコンをダブルクリックします。
CD-ROM ドライブアイコンを右クリックして、［開く］をクリックします。

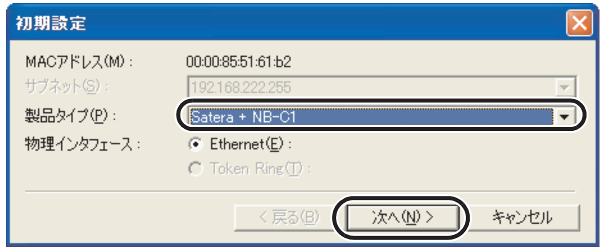
3. CD-ROM 内にある［NetSpot_Device_Installer］フォルダの［nsdi］を実行します。

4. 一覧から、［デバイス名］に本製品の MAC アドレス、［状態］欄に＜未設定＞が表示されているデバイスを選択します。

5. 選択したデバイスを右クリックし、ポップアップメニューの［初期設定］をクリックします。

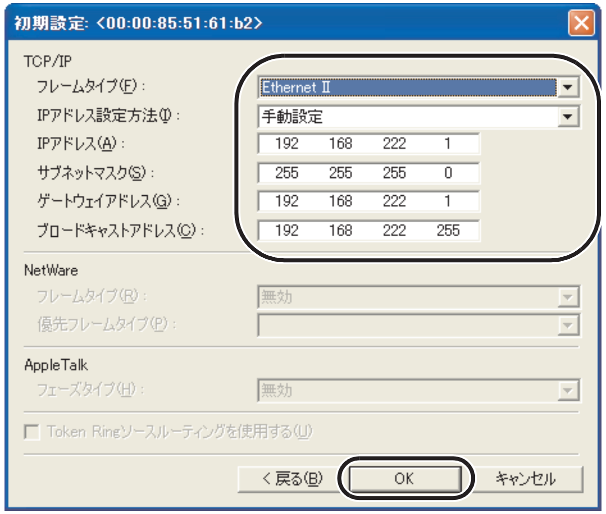


6. ［初期設定］ダイアログボックスで以下の項目を設定し、［次へ］をクリックします。



［サブネット］	NetSpot Device Installer を実行中のコンピュータが複数のネットワークに接続されている場合は、本製品が属するサブネットを選択します。
［製品タイプ］	お使いの製品名が表示されます。本製品名が表示されない場合は、［MF6580PL/6570］を選択します。

7. **TCP/IP プロトコルを設定します。**

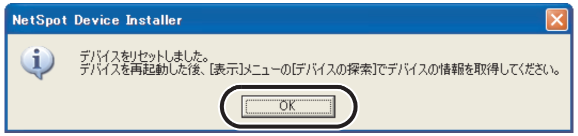


［フレームタイプ］	［ETHERNET II］を選択します。
［IP アドレス設定方法］	IP アドレスの設定方法を選択します。 ［手動設定］： IP アドレスを直接入力します。［IP アドレス］欄に入力された IP アドレスが本製品に割り当てられます。 ［DHCP］： IP アドレスは DHCP により自動的に割り当てられます。（DCHP サーバがネットワーク上で起動している必要があります。）
［IP アドレス］	本製品に割り当てるIPアドレスを入力します。

［サブネットマスク］	TCP/IP ネットワークで使用するサブネットマスクを入力します。
［ゲートウェイアドレス］	TCP/IP ネットワークで使用するゲートウェイアドレスを入力します。
［ブロードキャストアドレス］	TCP/IP ネットワークで使用するブロードキャストアドレスを入力します。

8. **設定内容を確認し、［OK］をクリックします。**

9. **以下のメッセージボックスが表示されたら、［OK］をクリックします。**



プロトコル設定

以下のいずれかを使って、本製品のプロトコルを設定できます。

- 本製品の操作パネル
- リモート UI
- NetSpot Console（キヤノンユーティリティソフトウェア）

メモ

- NetSpot Console のユーティリティソフトウェアは、付属の CD-ROM に収録されていません。NetSpot Console をお使いになるには、キヤノンのウェブサイトからダウンロードしてください。
- NetSpot Console の詳細については、オンラインヘルプまたは NetSpot Console の Readme ファイルを参照してください。
- NetSpot Console を使ってプロトコルを設定する場合は、管理者モードでログインします。NetSpot Console の使いかたについては、NetSport Console のオンラインヘルプを参照してください。
- リモート UI で IP アドレスなどを変更しても、設定の表示に変更は反映されません。本製品で確認する場合は、<システム設定>にある<ネットワーク設定>の< IP アドレス確認>、またはユーザデータリストをプリントして確認できます。（→操作ガイド（基本編）「第 13 章 各種機能の登録／設定」）

操作パネルを使って設定する

TCP/IP を設定する

1. ［初期設定／登録］を押します。
2. ［◄−］または［+►］を押して<システム管理設定>を選択し、［OK］を押します。
3. ［◄−］または［+►］を押して<ネットワーク設定>を選択し、［OK］を押します。
4. <TCP/IP設定>が表示されていることを確認し、[OK]を押します。
5. ［◄−］または［+►］を押して< LPD 印刷を使用>を選択し、［OK］を押します。
6. ［◄−］または［+►］を押して<する>または<しない>を選択し、［OK］を押します。

   <する>：プリント用アプリケーションに LPD を使用します。
   <しない>：LPD 印刷を使用しません。手順 8 に進んでください。
7. テンキーを使ってポート番号を入力し、［OK］を押します。

8. <RAW設定>が表示されていることを確認し、[OK]を押します。

9. [◄–] または [+►] を押して<する>または<しない>を選択し、[OK] を押します。

   <する>：プリント用アプリケーションに RAW を使用します。
   <しない>：RAW 印刷を使用しません。手順 14 に進んでください。

10. <ポート番号>が表示されていることを確認し、[OK] を押します。

11. テンキーを使ってポート番号を入力し、[OK] を押します。

12. <双方向を使用>が表示されていることを確認し、[OK] を押します。

13. [◄–] または [+►] を押して<する>を選択し、[OK] を押します。

14. [◄–] または [+►] を押して< IP アドレス範囲指定>を選択し、[OK] を押します。

15. [◄–] または [+►] を押して<する>を選択し、[OK] を押します。

16. <許可／拒否>が表示されていることを確認し、[OK] を押します。

17. [◄–] または [+►] を押して<拒否>または<許可>を選択し、[OK] を押します。

   <許可>：どの IP アドレスを持つコンピュータからでも、本製品にデータ（プリント／ファクスジョブ）を送信できます。
   <拒否>：指定された IP アドレスを持つコンピュータからのみ、本製品にデータ（プリント／ファクスジョブ）を送信できます。

18. < IP アドレス範囲入力>が表示されていることを確認し、[OK] を押します。

19. [◄–] または [+►] を押して< IP アドレス 1 >～< IP アドレス 4 >から 1 つを選択し、[OK] を押します。

20. <開始アドレス>が表示されていることを確認し、[OK] を押します。

21. テンキーを使って開始 IP アドレスを入力し、[OK]を押します。

22. ＜終了アドレス＞が表示されていることを確認し、[OK］を押します。

23. テンキーを使って終了 IP アドレスを入力し、[OK]を押します。

別の IP アドレス範囲を入力するには、手順 19 ～ 23 を繰り返します。＜ IP アドレス４＞の＜ IP アドレスの終了＞を指定すると、＜ RX MAC アドレス設定＞の表示が確認できます。[OK］を押して、手順 26 に進んでください。

24. ＜ TCP/IP 設定＞の＜ IP アドレス範囲設定＞が表示されるまで、[初期設定／登録］を押します。

25. [◄－] または [+►] を押して＜受信許可 MAC アドレス＞を選択し、[OK］を押します。

26. [◄－］または［+►］を押して＜する＞または＜しない＞を選択し、[OK］を押します。

＜しない＞：MAC アドレスフィルタを無効にします。手順 29 に進んでください。
＜する＞：MAC アドレスフィルタを有効にします。

メモ

＜する＞を選択した場合は、指定されていない MAC アドレスからはアクセスできません。

27. [◄－] または [+►] を押して＜許可アドレス 1 ＞～＜許可アドレス 5 ＞から 1 つ選択し、[OK］を押します。

28. アクセスを許可する MAC アドレスを指定し、[OK］を押します。

他の MAC アドレスも指定する場合は、手順 27 と 28 を繰り返します。

29. [ストップ］を押して待受画面に戻ります。

30. 主電源を入れなおします。

起動時間を設定する

本製品がスイッチングハブに接続されている場合、ネットワークが正しく設定されていても、ネットワークに接続できないことがあります。これは、本製品をスイッチングハブに接続するとすぐに、スイッチングハブ間のスパニングツリーのプロセスがハブ間の通信を妨害するために起こります。
このような場合は、以下の手順で通信の開始を遅らせてください。

1. ［初期設定／登録］を押します。
2. ［◄－］または［＋►］を押して＜システム管理設定＞を選択し、［OK］を押します。
3. ［◄－］または［＋►］を押して＜ネットワーク設定＞を選択し、［OK］を押します。
4. ［◄－］または［＋►］を押して＜起動時間の設定＞を選択し、［OK］を押します。
5. ［◄－］、［＋►］またはテンキーを押して本製品のネットワーク通信開始遅れ時間を設定し、［OK］を押します。

   0 秒～ 300 秒の間で設定できます。
6. ［ストップ］を押して待受画面に戻ります。
7. 主電源を入れなおします。

リモート UI を使って設定する

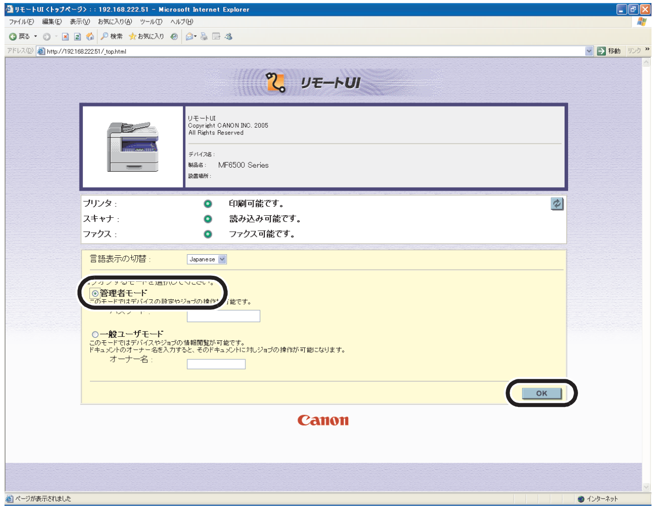
メモ

- リモート UI を使う前に、＜システム管理設定＞の＜ HTTP を使用＞が＜する＞に設定され、＜リモート UI ＞が＜ ON ＞に設定されていることを確認してください。（→操作ガイド（基本編）「第 13 章 各種機能の登録／設定」）
- プロキシサーバを使って接続している場合は、以下の設定を使用します。（設定はネットワーク環境によって異なります。）
  ウェブブラウザを設定してプロキシサーバを使用する場合は、本製品の IP アドレスを除外リスト（プロキシサーバを使用しないアドレス）に追加します。
- ウェブブラウザのクッキーを有効にします。
- 同時に複数のリモート UI を起動している場合は、最後の設定のみが有効になります。リモート UI は 1 つだけ起動することをおすすめします。

1. ウェブブラウザを起動します。［アドレス］または［設置場所］に本製品の IP アドレスを入力し、キーボードの［Enter］キーを押します。

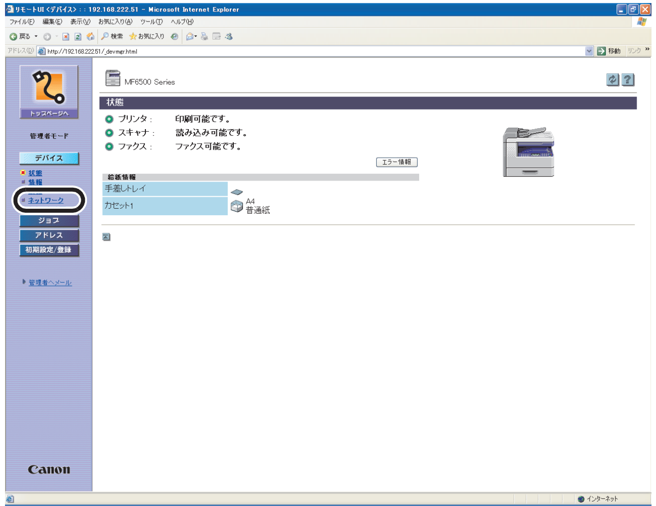
   入力例：http://172.20.88.125/

2. ［管理者モード］を選択し、［OK］をクリックします。

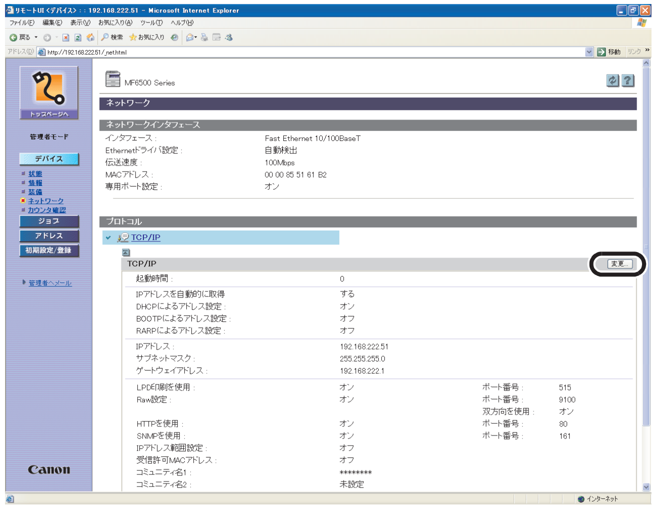


本製品にパスワードが設定してある場合は、パスワードを入力し、［OK］をクリックします。

3. ［デバイス］で［ネットワーク］をクリックします。



4. ［変更］をクリックします。



ファクス 1
コピー 2
ネットワーク 3
リモート UI 4
システムモニタ 5
各種レポート／リスト 6
困ったときには 7
付録 8

5. [IP アドレス]、[サブネットマスク] および [ゲートウェイアドレス] 設定を指定します。
6. [LPD 印刷を使用] で、LPD アプリケーションを使って現在のプリント設定を表示するかどうかを指定します。
7. [Raw 設定] で、Raw アプリケーションを使って現在のプリント設定を表示するかどうかを指定します。
8. [IP アドレス範囲設定を有効にする] で、IP アドレスが設定されているコンピュータからの接続を制限するかどうかを指定します。
9. [受信許可MACアドレス設定を有効にする] で、MAC アドレスが設定されているコンピュータからの接続を制限するかどうかを指定します。
10. [OK] をクリックします。

目次
索引

プリント／ファクス送信ができるようコンピュータを設定する

● **TCP/IP ネットワークに接続する**

本製品を使用するすべてのコンピュータに TCP/IP クライアントソフトウェアがインストールされ、TCP/IP ネットワークが利用可能な状態である必要があります。詳細については、オペレーティングシステムの取扱説明書を参照してください。

● **プリンタドライバのインストールおよび接続先を設定する**

コンピュータからプリントするには、プリンタドライバをインストールし、接続先を設定する必要があります。接続先設定は、プリント用アプリケーションによって異なります。以下の情報を基に、お使いになるプリント用アプリケーションを決定し、必要な手順を実行してください。

LPD：TCP/IP で通常使用するアプリケーションです。
Raw：Windows 2000/XP/Server 2003 で使用するアプリケーションです。LPD より高速でプリントできます。

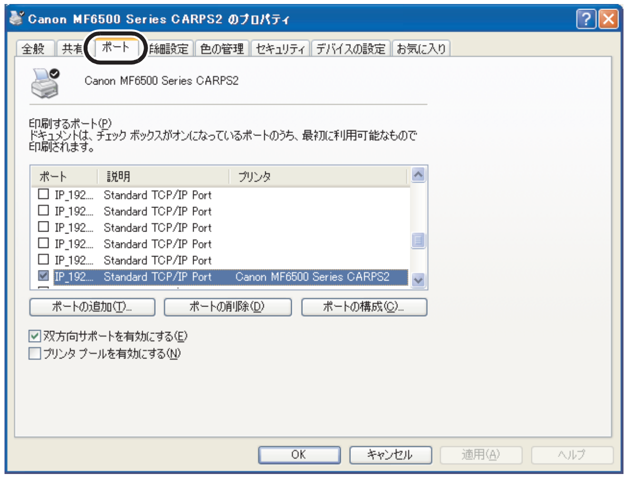
■ 本製品の接続方法（LPD/Raw）

1. **プリンタのプロパティ画面を開きます。**

- Windows 2000 の場合は、Windows のタスクバーの［スタート］→［設定］→［プリンタ］をクリックします。
- Windows XP Professional/Server 2003 の場合は、Windows のタスクバーの［スタート］→［プリンタと FAX］をクリックします。
- Windows XP Home Edition の場合は、Windows のタスクバーの［スタート］→［コントロールパネル］→［プリンタとその他のハードウェア］→［プリンタと FAX］をクリックします。

2. **［Canon MF6500 Series CARPS2］または［Canon MF6500 Series（FAX）］を右クリックし、［プロパティ］を選択します。**

3. **［ポート］タブをクリックして［ポート］のページを表示させます。**



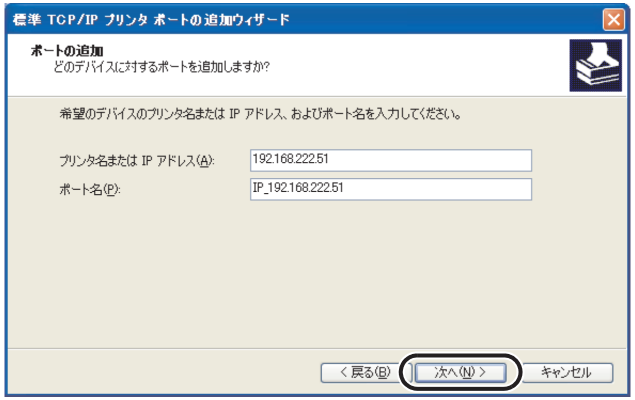
4. **［ポートの追加］をクリックして［プリンタポート］画面を開きます。**

5. **［利用可能なポートの種類］から、［Standard TCP/IP PORT］を選択し、［新しいポート］をクリックします。**

標準 TCP/IP プリンタポートの追加ウィザードが起動します。

6. **［次へ］をクリックします。**

7. **［プリンタ名または IP アドレス］で、本製品の IP アドレスかホスト名を入力し、［次へ］をクリックします。**



本製品に割り当てたＩＰアドレスを入力してから［次へ］をクリックすると、［標準 TCP/IP プリンタポートの追加ウィザードの完了］ウィンドウが表示されます。

8. **［完了］をクリックします。**

ダイアログボックスに［ポート情報がさらに必要です。］と表示された場合は、画面の手順に従って再検出を行うか、［標準］をクリックします。プルダウンリストから［Canon Network Printing Device with P9100］をクリックし、［次へ］をクリックします。

9. **［閉じる］をクリックして［プリンタポート］画面を閉じます。**

Raw 印刷をお使いになる場合は、手順 11 に進んでください。

10. **プリンタのプロパティボックスで、［ポートの構成］をクリックします。［プロトコル］で［LPR］をクリックし、［LPR 設定］で［キュー名］にプリントキューを入力します。**



メモ

[キュー名]にプリントキューを設定できます。以下の 3 つのプリントキューが利用できます。
LP: スプール設定のとおりにプリントします。通常はこの設定を選択します。
SPOOL: スプール設定に関係なく、ハードディスク上のプリントジョブをスプールしてからのみプリントします。
DIRECT: スプール設定に関係なく、ハードディスク上のプリントジョブをスプールしないでプリントします。

11. [OK] をクリックします。

12. [閉じる] をクリックします。

■ プリントサーバを設定する

ネットワーク上のWindows 2000/XP/Server 2003をプリントサーバに設定することで、ネットワークプリンタを効率よく管理できるようになります。プリントサーバを設定すると、プリントジョブはプリントサーバによって管理されます。また、あらかじめプリントサーバに代替ドライバをインストールしておくと、各パソコンはプリンタドライバをネットワークからインストールできるようになります。

1. **プリンタドライバのプロパティ画面を表示します。**

［スタート］メニューから［プリンタと FAX］を選択します（Windows 2000 では［スタート］→［設定］→［プリンタ］）。

2. **本製品のプリンタドライバアイコンを右クリックし、［共有］を選択します。**

3. **［このプリンタを共有する］(Windows 2000 の場合は［共有する］）を選択して、任意の共有名を入力します。**

4. **本商品を Windows 2000/XP/Server 2003 以外のパソコンと共有するときは、［追加ドライバ］をクリックします。**

選択した OS 用のプリンタドライバインストールの画面が表示されます。プリンタドライバのファイルの場所を入力して、画面の指示に従ってください。

メモ

他のパソコンにプリンタドライバをインストールするときは、［プリンタの追加ウィザード］のプリンタの接続先を選択する画面で［ネットワークプリンタ］を選択して、プリントサーバに設定したパソコンの共有プリンタを選択してください。

5. **［OK］をクリックします。**

共有プリンタの設定が完了しました。

本製品を管理する

以下のソフトウェアを使って、コンピュータから本製品の状態の確認や設定をすることができます。

- リモート UI
- NetSpot Device Installer（付属の CD-ROM に収録されているキヤノンユーティリティソフトウェア）
- NetSpot Console（キヤノンユーティリティソフトウェア）

メモ

NetSpot Console のユーティリティソフトウェアは、付属の CD-ROM に収録されていません。NetSpot Console をお使いになるには、キヤノンのウェブサイトからダウンロードしてください。

リモート UI を使って本製品を管理する

本製品にインストールされているリモート UI を使って、ウェブブラウザから本製品を管理できます。
リモート UI の起動方法については、「リモート UI を使って設定する」（→ P.3-19）を参照してください。リモート UI の詳細については、「本製品の状態と情報を表示する」（→ P.4-6）を参照してください。

NetSpot Device Installer を使って管理する

NetSpot Device Installer は、ネットワークに接続されているキヤノン製品の初期設定をするユーティリティソフトウェアです。NetSpot Device Installer は CD-ROM に収録されています。インストールなしで直接アクセスすることができ、キヤノン製品のネットワークの初期設定を簡単にすばやく行うことができます。
NetSpot Device Installer の使いかたについては、NetSport Device Installer のオンラインヘルプを参照してください。

NetSpot Console を使って管理する

NetSpot Console は、ネットワークに接続されている機器を管理できるユーティリティソフトウェアです。ウェブブラウザから、デバイスのマップ表示、プロトコルの詳細設定、デバイス状態の通知と表示、ジョブ操作など、さまざまな情報を表示できます。
NetSpot Console の詳細については、オンラインヘルプまたは NetSpot Console の Readme ファイルを参照してください。

4 リモート UI

動作環境

リモート UI を使用するには、以下のシステムおよびネットワーク環境が必要です。

Windows

● オペレーティングシステム

- Microsoft Windows 98/98SE
- Microsoft Windows Me
- Microsoft Windows NT Workstation 4.0 + Service Pack 3 以降
- Microsoft Windows 2000 Professional
- Microsoft Windows XP

● ウェブブラウザ

- Microsoft Internet Explorer 5.01 SP1 以降
- Netscape Communicator/Navigator 6.0以降、ただしNetscape Communicator 6 は除く

Macintosh

● オペレーティングシステム

- Mac OS 8.6 以降 Mac OS X Classic まで

● ウェブブラウザ

- Microsoft Internet Explorer 5.01 SP1 以降

リモート UI を使うには

リモート UI ソフトウェアを使って、ウェブブラウザからネットワークに接続された本製品へのアクセスと管理ができます。

■ リモート UI を起動する

メモ

リモート UI を起動する前に、＜システム管理設定＞にある＜ネットワーク設定＞の＜ IP アドレスの確認＞を選択し、本製品の IP アドレスを確認します。IPアドレスがわからない場合は、ネットワーク管理者にお問い合わせください。（→「第 3 章 ネットワーク」）

1. **ウェブブラウザを起動します。**

2. **アドレスバーに本製品の IP アドレスを入力し、キーボードの［Enter］キーを押します。**

   リモート UI 画面が表示されます。

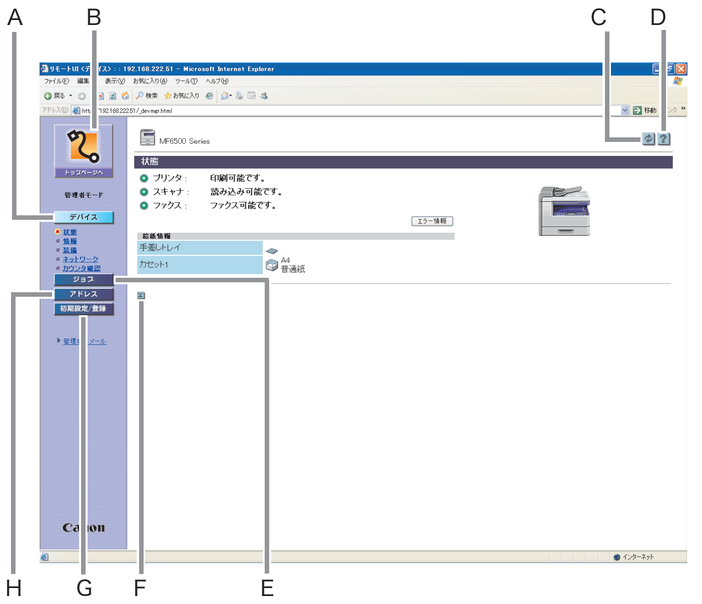
3. **ID とパスワードを入力します。**

   管理なしモード：［管理者モード］または［一般ユーザモード］を選択し、パスワードまたはオーナー名を入力します。
   部門別 ID 管理モード：部門 ID とパスワードを入力します。
   ユーザ管理モード：ユーザ ID とパスワードを入力します。

   メモ

   ID とパスワードについては、「部門別／ユーザ ID を管理する」（→ P.4-14）を参照してください。

4. **［OK］をクリックします。**



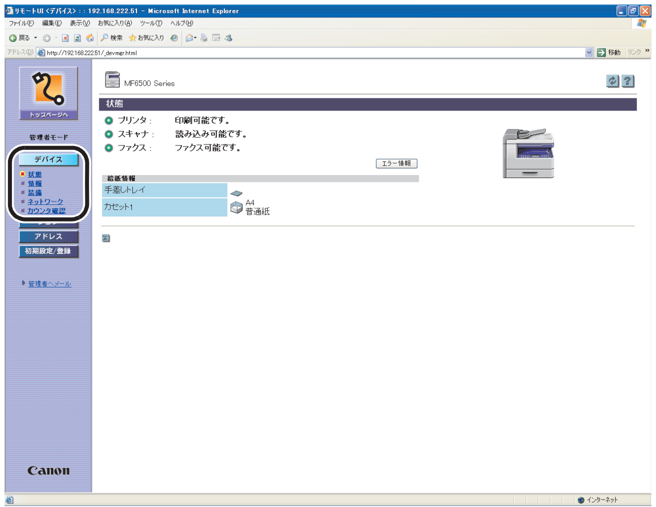
リモート UI にログオンすると［デバイス］の［状態］ページが表示されます。

A	デバイス	本製品の現在の状態などを表示します。
B	トップページへ	リモート UI のトップページに戻ります。
C		表示中の画面が最新の情報に更新されます。
D		リモートUIのオンラインヘルプを表示します。
E	ジョブ	現在の印刷ジョブなどの状態を表示します。
F		表示中のページのトップに戻ります。
G	初期設定/登録	本製品の設定リストなどを表示します。
H	アドレス	本製品に登録されているワンタッチまたは短縮ダイヤルデータ（ファクス番号など）を表示します。
	戻る	1 つ前のページに戻ります。

本製品の状態と情報を表示する

リモート UI を使って、本製品の現在の状態、管理者、設置場所、各種設定などの情報を表示することができます。

1. [デバイス] をクリックし、メニューから表示したい項目を選択します。



[状態]	カセットおよび手差しトレイの用紙残量とエラーメッセージが表示されます。エラーの詳細を確認するには、[エラー情報] をクリックします。
[情報]	管理者についての情報や設置場所などの、本製品に関する情報が表示されます。
[装備]	現在のシステム設定で使用可能な機能が表示されます。
[ネットワーク]	利用できるネットワークインタフェースとネットワークプロトコルについての情報が表示されます。管理者モードでログオンした場合は、これらの設定を変更することもできます。
[カウンタ確認]	今までに印刷、コピー、受信印刷ジョブでプリントされた総排紙枚数が表示されます。

ファクス 1
コピー 2
ネットワーク 3
リモート UI 4
システムモニタ 5
各種レポート／リスト 6
困ったときには 7
付録 8

ジョブを管理する／ジョブログを表示する

リモート UI から、印刷ジョブを管理することができます。また、ファクスの送受信の結果を表示することもできます。

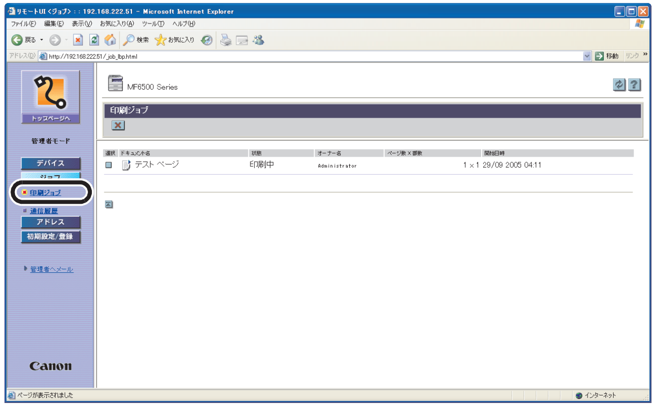
メモ

- 一般ユーザモードでログオンした場合、［初期設定／登録］の［システム管理］で［一般ユーザによるジョブ操作を許可する］にチェックマークがついていないときは、印刷ジョブを削除できません。［一般ユーザによるジョブ操作を許可する］にチェックマークがついているときは、ログオンするときに入力した ID と「オーナー」が一致するジョブのみ、操作することができます。
- ［システム管理設定］で［ジョブ履歴表示］を［しない］に設定している場合は、［印刷履歴］および［通信履歴］は表示されません。（→システム管理情報の設定をする：P.4-12）

■ 印刷ジョブを管理する

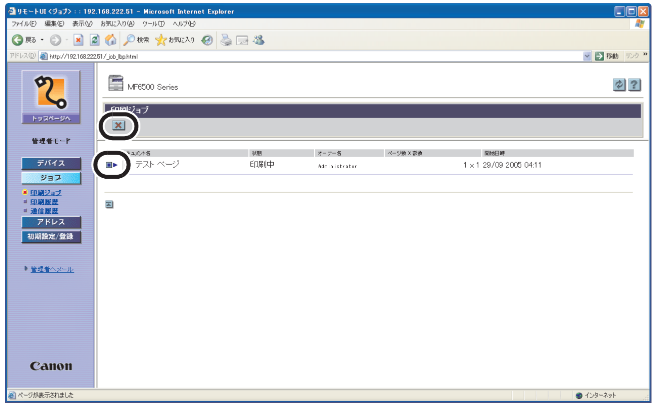
リモート UI から印刷中や待機中の印刷ジョブを管理できます。

1. **［ジョブ］をクリックし、メニューから［印刷ジョブ］を選択します。**



印刷中のジョブ一覧が表示されます。

2. **印刷ジョブを削除する場合は、削除したいジョブのチェックボックスを選択し、［×］をクリックします。**



メモ

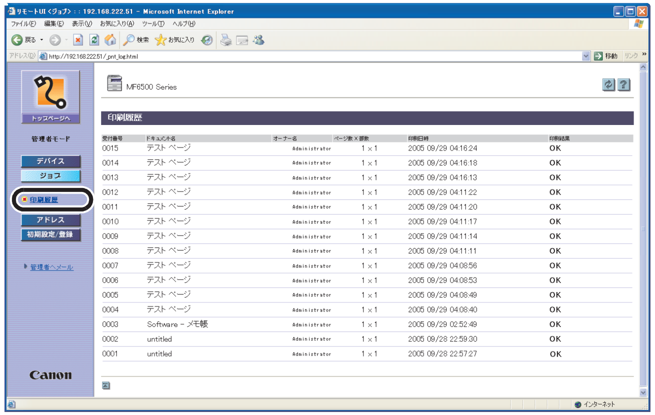
削除したジョブは、元に戻せません。

目次
索引

■ 印刷ジョブを表示する

リモート UI を使って、印刷ジョブの［印刷履歴］を表示できます。
［印刷履歴］には最新の印刷ジョブが 128 件まで表示されます。

1. ［ジョブ］をクリックし、メニューから［印刷履歴］を選択します。



［印刷履歴］が表示され、印刷済みの印刷ジョブの情報を確認できます。

メモ

印刷中にエラーが起きた場合は、［印刷結果］に［NG］とエラーコードが表示されます。
エラーコードには、以下のようなものがあります。

＃ 0816

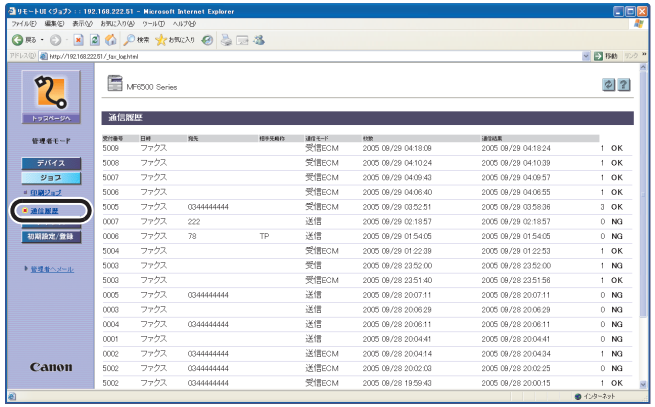
原因：　プリント総数が［制限面数］の上限に達した。

処置：　プリント総数を増やすか、［制限面数］のチェックをはずしてください。(→部門別／ユーザ ID を管理する：P.4-14)

■ 通信履歴を表示する

リモート UI を使って、ファクスジョブの［通信履歴］を表示できます。
［通信履歴］には最新のファクスジョブが 45 件まで表示されます。

1. ［ジョブ］をクリックし、メニューから［通信履歴］を選択します。



［通信履歴］が表示され、通信済みのファクスジョブの情報を確認できます。

ファクス 1
コピー 2
ネットワーク 3
リモート UI 4
システムモニタ 5
各種レポート／リスト 6
困ったときには 7
付録 8
目次
索引

宛先表を表示／操作する

リモートUIから､宛先表の各宛先の追加や編集をすることができます。

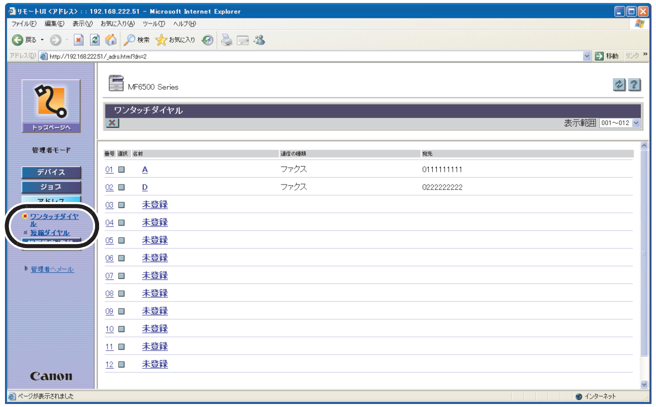
メモ

管理者モードでログオンした場合のみ、設定の変更ができます。

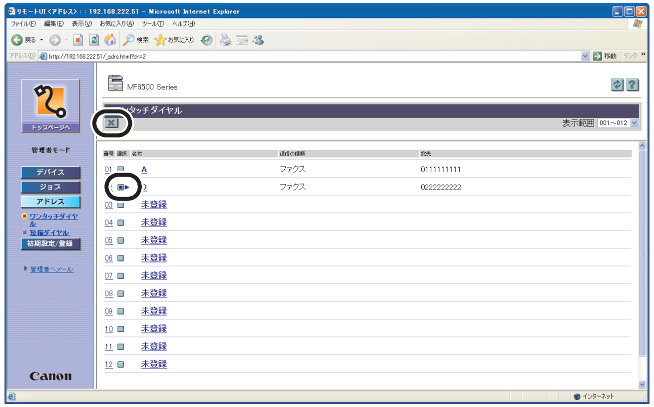
■ ワンタッチまたは短縮ダイヤルを表示／操作する

リモート UI を使って、ワンタッチダイヤル／短縮ダイヤルの一覧を表示／操作できます。ダイヤルの登録や削除、登録済みの宛先の変更ができます。

1. ［アドレス］をクリックし、メニューから［ワンタッチダイヤル］または［短縮ダイヤル］を選択します。



2. ワンタッチダイヤルまたは短縮ダイヤルを削除する場合は、削除したい番号のチェックボックスを選択し、×をクリックします。

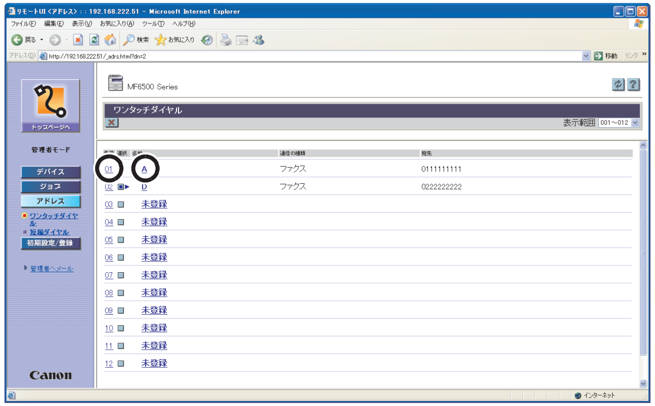


メモ

削除した番号は元に戻せません。

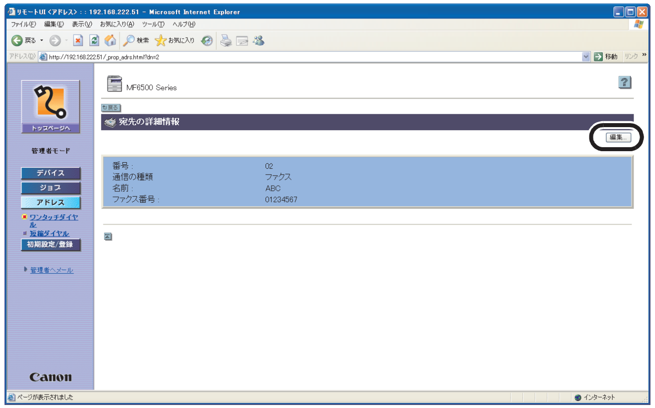
3. **ワンタッチダイヤルまたは短縮ダイヤルに登録された情報を表示するには、番号または名前をクリックします。**

［ワンタッチダイヤル］または［短縮ダイヤル］に宛先を追加する場合は、名前に［未登録］と表示されている番号をクリックします。

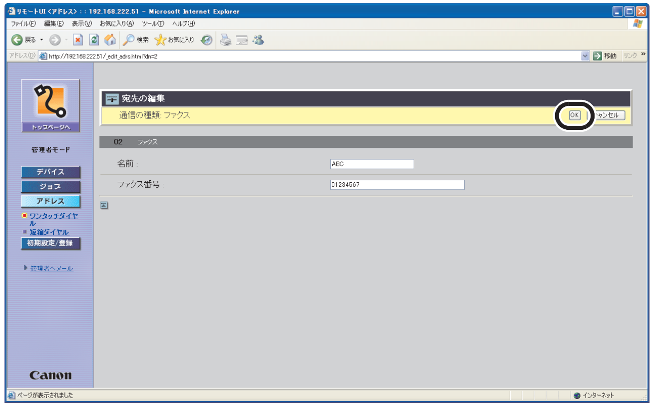


番号の詳細が表示されます。

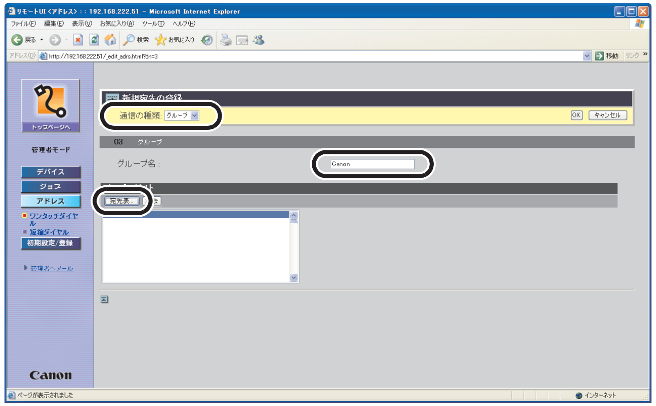
4. **変更するには、［編集］をクリックします。**



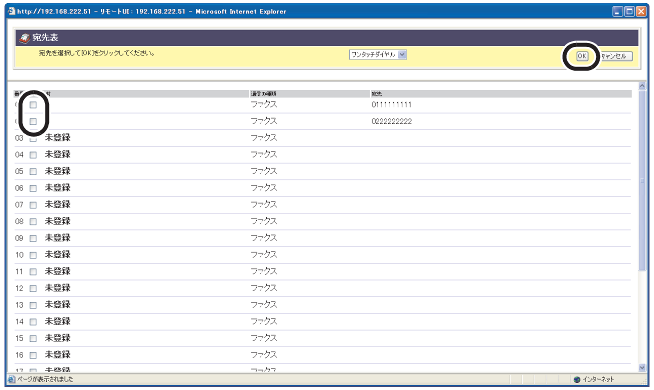
5. **入力した内容を保存するには、［OK］をクリックします。**



グループダイヤルを登録するには、名前に［未登録］が表示されている番号をクリックします。［種類］から［グループ］を選択し、［グループ名］に名前を入力して、［宛先表］をクリックします。



プルダウンリストから［ワンタッチダイヤル］または［短縮ダイヤル］を選択し、グループに登録する番号のチェックボックスを選択して［OK］をクリックします。



6. ［メンバーリスト］に登録した宛先が表示されていることを確認し、［OK］をクリックします。

システム管理の設定をする

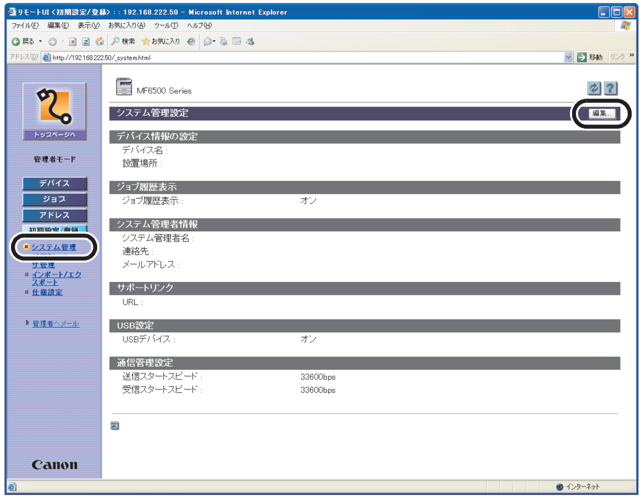
■ システム管理情報の設定をする

リモート UI から、本製品のシステムを管理する情報の設定ができます。

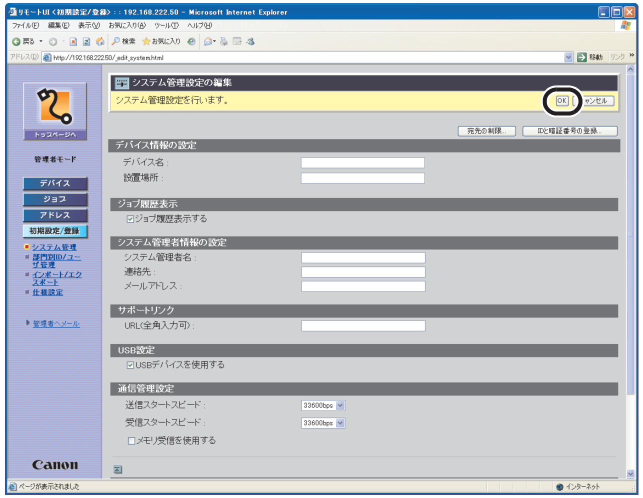
メモ

- ［システム管理］は、本製品の操作パネルからも設定できます。詳細については、操作ガイド（基本編）「第 13 章 各種機能の登録／設定」を参照してください。
- システム管理部門 ID やシステム管理暗証番号は 7 桁まで登録できます。7 桁に満たない場合は以下のようになります。
  例：「321」と入力→「0000321」と設定されます。

1. ［初期設定／登録］をクリックし、メニューから［システム管理］をクリックして、［編集］をクリックします。



2. 必要な項目を設定し、［OK］をクリックします。

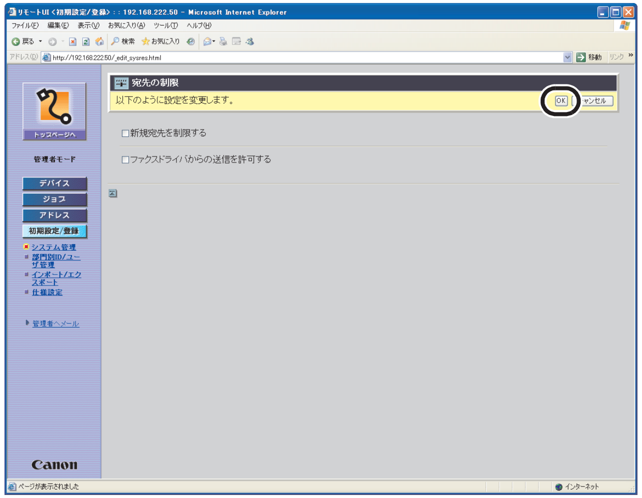


宛先の制限を設定する場合

● **［宛先の制限］をクリックします。**

［宛先の制限］ページが表示されます。

● **必要な項目を設定し、［OK］をクリックします。**



［新規宛先の制限をする］	宛先表に登録されていない新規宛先への送信を、制限するように設定することができます。チェックマークを付けると、テンキーダイヤルでの宛先の指定、リダイヤルでの宛先の指定、宛先表の登録が制限されます。
［ファクスドライバからの送信を許可する］	チェックマークを付けると、ファクスドライバからのファクス送信を許可します。

システム管理者の ID と暗証番号を設定する場合

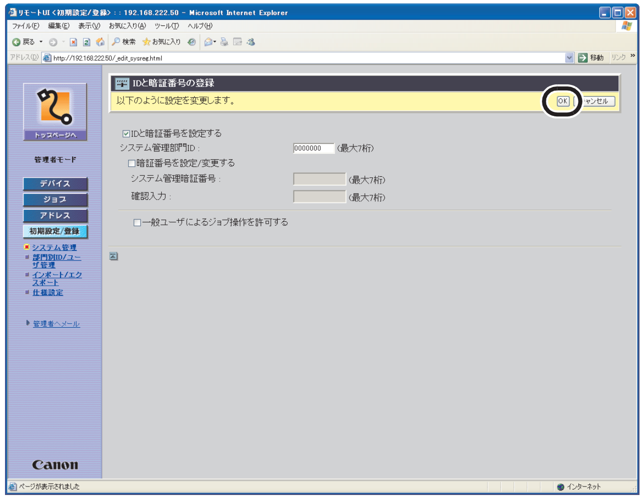
メモ

部門別 ID 管理設定時のみ、ID の登録が可能になります。

● **［ID と暗証番号の登録］（または［暗証番号の登録］）をクリックします。**

［ID と暗証番号の登録］ページ（または［暗証番号の登録］ページ）が表示されます。

● **必要な項目を設定し、［OK］をクリックします。**



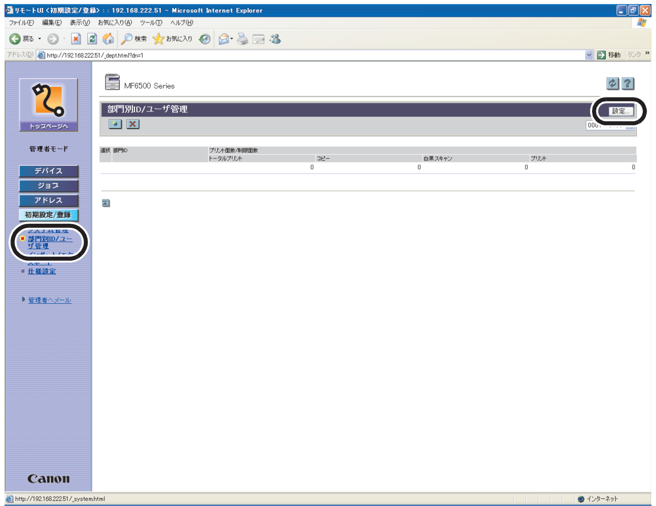
部門別／ユーザ ID を管理する

それぞれの部門／ユーザに ID とパスワードを登録すると、ID とパスワードの入力を必要とすることにより、本製品の使用を制限することができます。部門別／ユーザ ID とパスワードは最大 1000 件まで登録することができます。部門別／ユーザ ID の管理を使って、それぞれの部門やユーザのコピー、FAX 送信、プリントの総数を管理することができます。

メモ

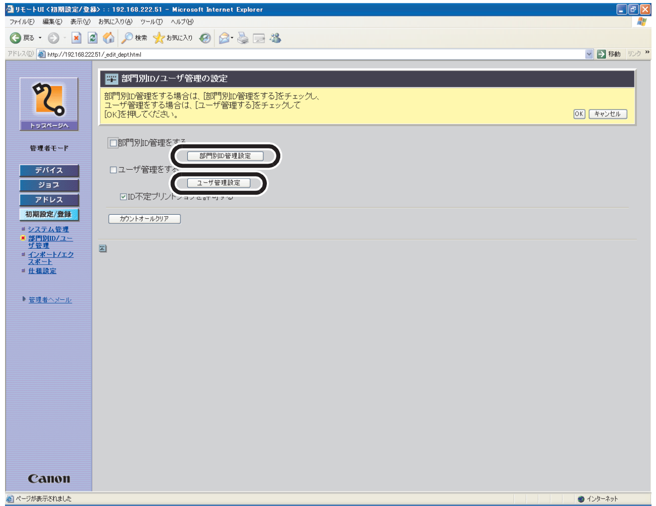
- ［部門別 ID ／ユーザ管理］は、本製品の操作パネルからも設定できます。詳細については、操作ガイド（基本編）「第 13 章 各種機能の登録／設定」を参照してください。
- ［部門別 ID ／ユーザ管理］は、管理者モードでログオンした場合のみ表示されます。

1. ［初期設定／登録］をクリックし、メニューから［部門別 ID ／ユーザ管理］をクリックして、［設定］をクリックします。

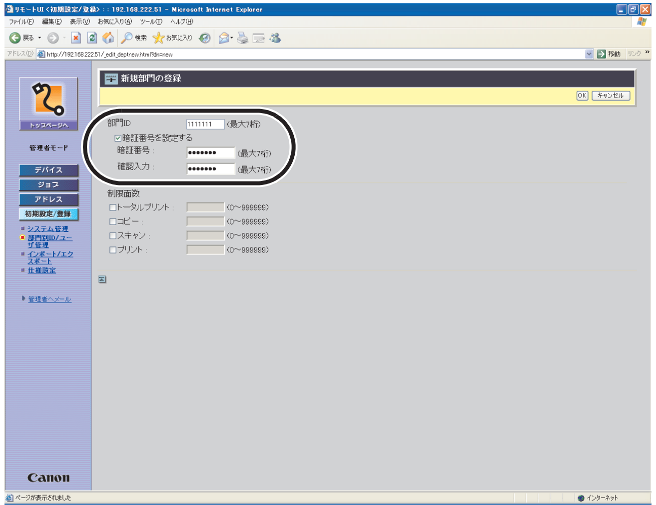


部門別 ID リスト

2. ［部門別 ID 管理設定］または［ユーザ管理設定］をクリックします。



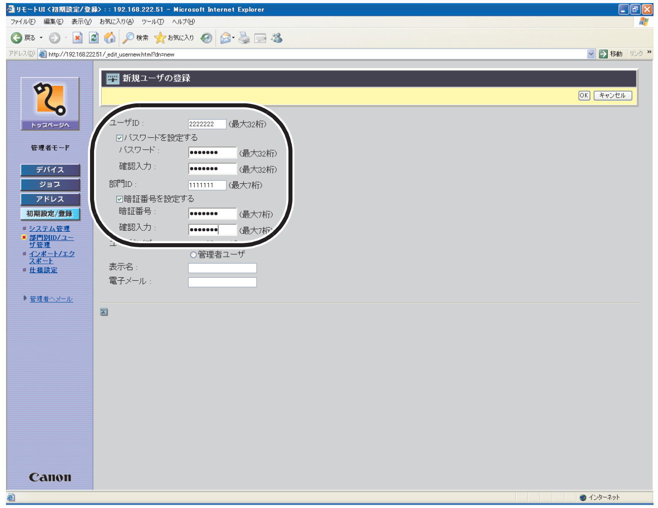
3. **テンキーで部門別 ID またはユーザ ID を入力します。［暗証番号を設定する］を選択して、テンキーでパスワードを入力し、［OK］をクリックします。**



部門別 ID 登録画面

メモ

プリント総数やコピー、FAX 送信面数を設定することにより、それぞれの枚数を制限することができます。［制限面数］の下の項目を選択し、テンキーで枚数を入力します。

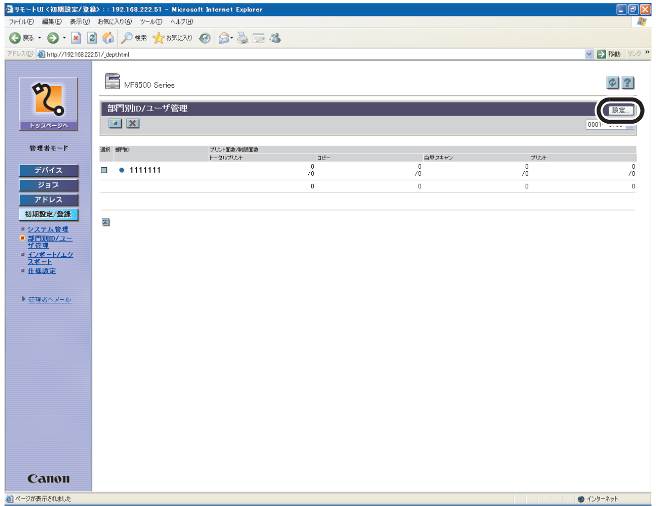


ユーザ ID 登録画面

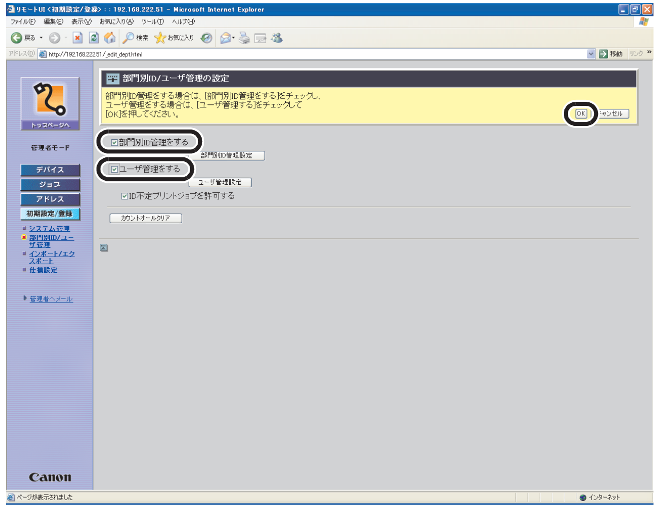
メモ

- ユーザ ID と部門別 ID の入力が必要です。
- 同様に［ユーザタイプ］や［表示名］、［電子メール］を設定することができます。

4. ［設定］をクリックします。



5. ［部門別 ID 管理をする］または［ユーザ管理をする］を選択し、［OK］をクリックします。



［部門別 ID を管理する］　部門別 ID 管理ができます。チェックマークを付けると、本製品でコピー、ファクス送信およびレポート出力など、本体操作時に部門 ID の入力が必要になり、部門ごとのカウンタ管理やプリント面数の制限などができるようになります。また、リモート UI の操作をするときにも、部門 ID と暗証番号の入力が必要になります。

［ユーザ管理をする］　ユーザ管理ができます。チェックマークを付けると、本製品でコピー、ファクス送信およびレポート出力など、本体操作時にユーザIDの入力が必要になり、ユーザごとのカウンタ管理やプリント面数の制限などができるようになります。また、リモート UI の操作をするときにも、ユーザ ID と暗証番号の入力が必要になります。

メモ

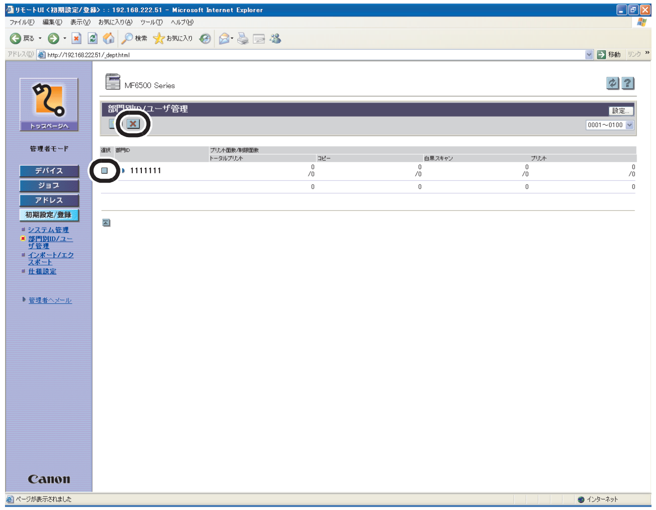
［部門別 ID を管理する］と［ユーザ管理をする］の両方にチェックマークがついている場合は、各ユーザに部門 ID を割り当てる必要があります。部門 ID が割り当てられていないユーザは、操作できません。

［ID 不定プリントジョブを許可する］

チェックマークを付けると、ID 管理に対応していないプリンタドライバからのプリントも可能になります。
チェックマークをはずすと、ID 管理に対応しているプリンタドライバからのみプリントが可能になります。

［カウントオールクリア］　全部門のカウンタの値を 0 に戻すことができます。

部門別 ID ／ユーザ ID を削除するには、目的の部門別 ID ／ユーザ ID のチェックボックスを選択し、✕をクリックします。



ユーザリスト画面

登録済みの部門別 ID ／ユーザ情報を変更するには、部門別 ID ／ユーザ ID をクリックして部門 ID ／ユーザ ID 登録画面を表示します。

ファクス 1
コピー 2
ネットワーク 3
リモート UI 4
システムモニタ 5
各種レポート／リスト 6
困ったときには 7
付録 8

宛先表やデバイスの設定情報をファイルに保存する／ファイルから読み込む

リモート UI を使って、本製品に登録されている宛先表などの情報をパソコンのファイルに保存したり、ファイルから読み込んで本製品に登録したりすることができます。本製品に登録されている設定情報を別のデバイスで使用するときや、バックアップするときなどに使用します。インポート／エクスポートはデータの交換を目的としたもので、リモート UI のみの機能です。

注意

インポート／エクスポートは動作が完了するまでに数分かかることがあります。動作が完了するまで、本製品の主電源を切らないでください。本製品が故障する恐れがあります。

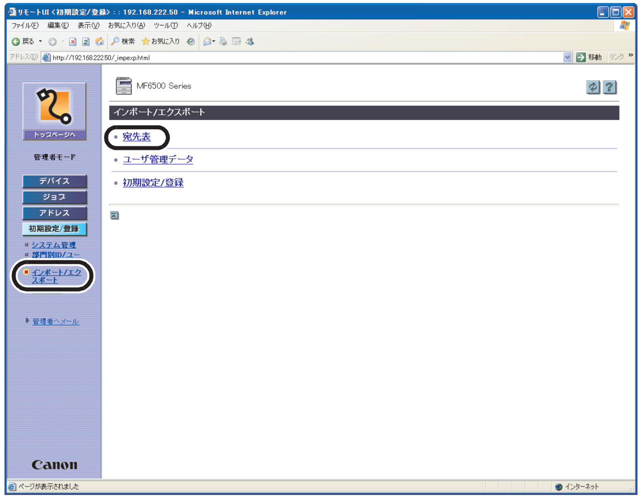
メモ

- ファイルのインポート／エクスポート中は、本製品の操作パネルは使用できません。
- ［インポート／エクスポート］は、管理者モードでログオンした場合のみ表示されます。

■ 宛先表をファイルに保存する（エクスポート）

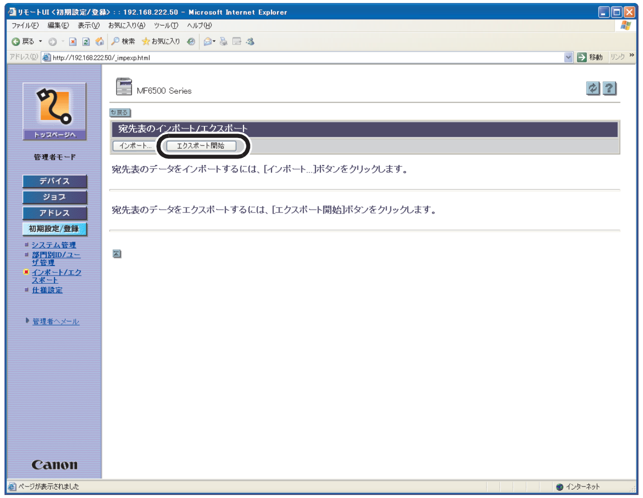
宛先表の情報をファイルとしてパソコンに保存できます。

1. ［初期設定／登録］をクリックし、メニューから［インポート／エクスポート］をクリックして、［宛先表］をクリックします。



目次
索引

2. ［エクスポート開始］をクリックします。



3. 画面の指示に従って、ファイルの保存場所を指定します。

指定した場所に宛先表が保存されます。

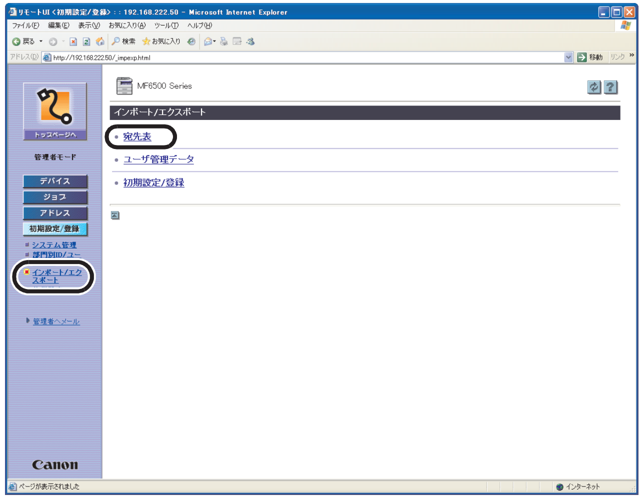
■ 宛先表をファイルから読み込む（インポート）

パソコンに保存したファイルから、宛先表の情報を本製品に読み込むことができます。

メモ

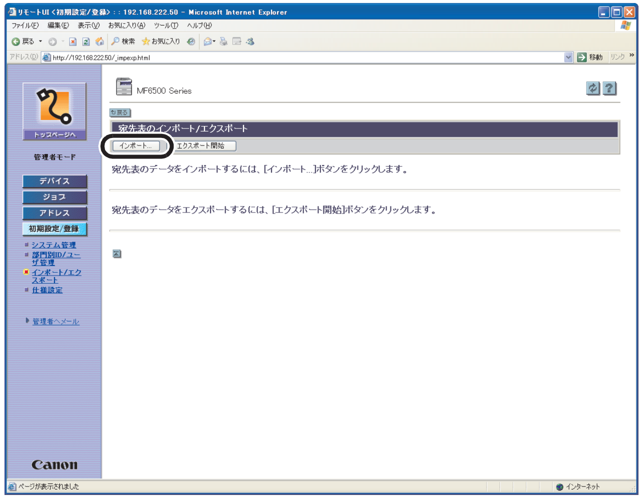
- 新しいファイルの内容を登録すると、現在登録されている宛先に新しい宛先表が上書きされます。
- タイマー送信を設定している場合には、インポートを行わないでください。
- 宛先表には最大 123 件の宛先を登録できます。宛先はそれぞれの情報が 1 件として扱われます。
- ＜宛先表仕様設定＞の＜詳細設定＞の設定内容はインポートできません。（→ワンタッチダイヤル／短縮ダイヤルの詳細設定：P.1-5）
- グループダイヤルの宛先に別のグループダイヤルを登録した場合は、グループダイヤルのデータはインポートできません。

1. ［初期設定／登録］をクリックし、メニューから［インポート／エクスポート］をクリックして、［宛先表］をクリックします。

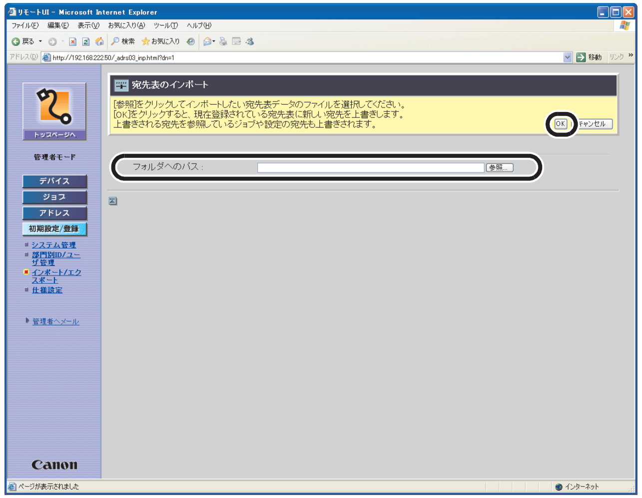


ファクス 1
コピー 2
ネットワーク 3
リモート UI 4
システムモニタ 5
各種レポート／リスト 6
困ったときには 7
付録 8

2. ［インポート］をクリックします。



3. ［参照］をクリックしてインポートするファイルを選択し、［OK］をクリックします。



メモ

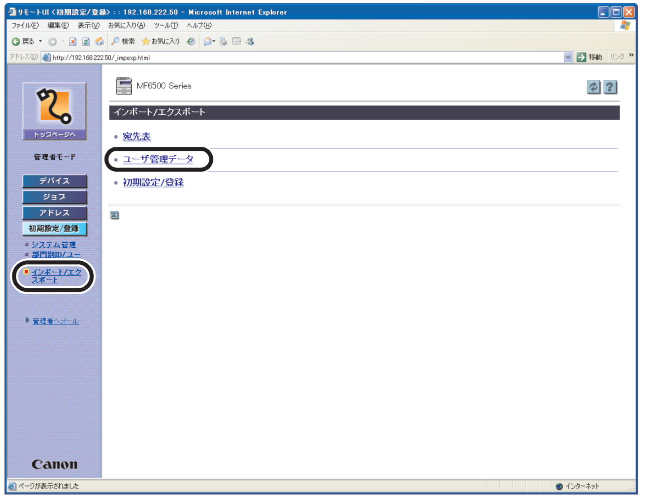
他のジョブを実行中は、インポートを行わないでください。

目次
索引

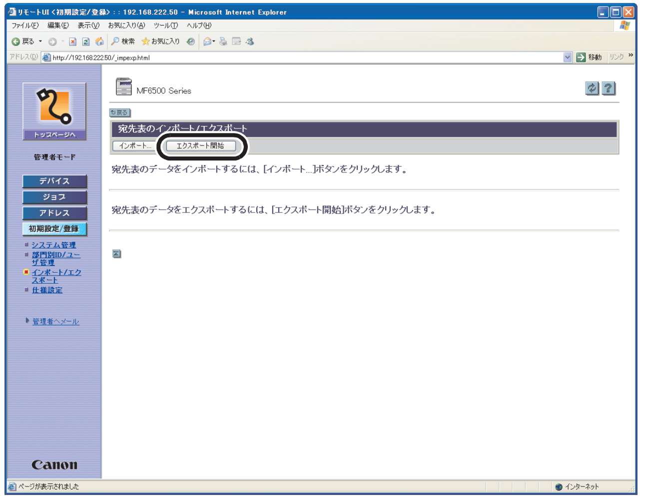
■ ユーザ管理データの設定をファイルに保存する（エクスポート）

ユーザ管理データの設定内容をファイルとしてパソコンに保存できます。

1. ［初期設定／登録］をクリックし、メニューから［インポート／エクスポート］をクリックして、［ユーザ管理データ］をクリックします。



2. ［エクスポート］をクリックします。



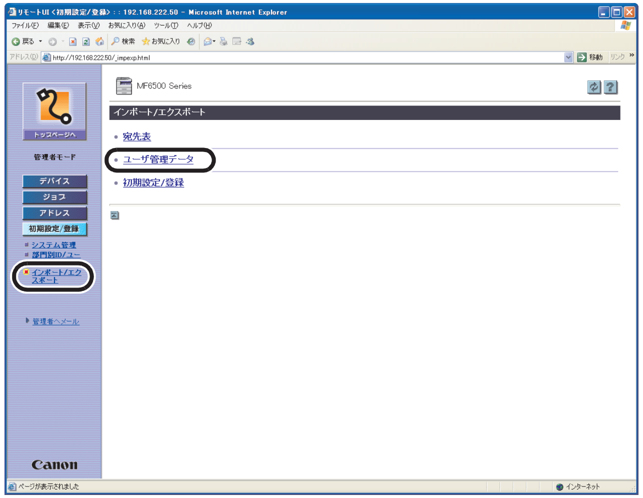
3. 画面の指示に従って、ファイルの保存場所を指定します。

指定した場所にユーザ管理データファイルが保存されます。

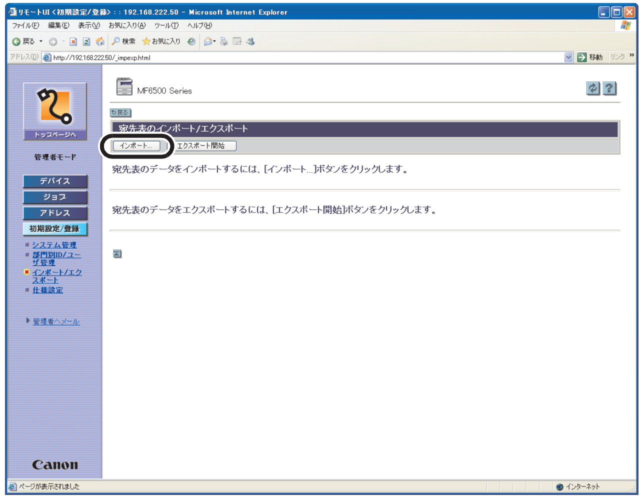
■ ユーザ管理データの設定をファイルから読み込む（インポート）

パソコンに保存したファイルから、ユーザ管理データの設定内容を本製品に読み込むことができます。

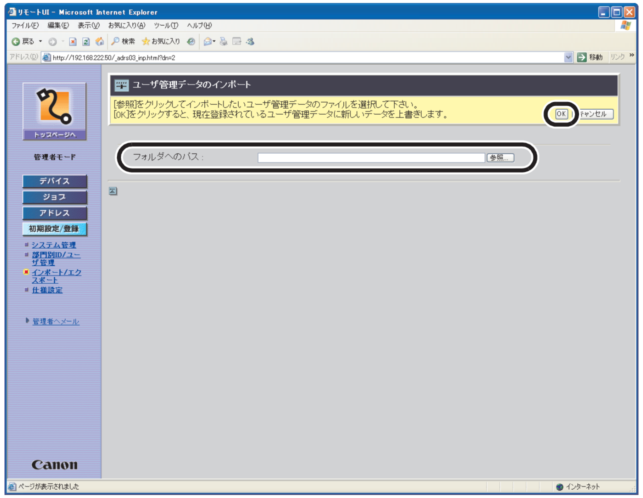
1. ［初期設定／登録］をクリックし、メニューから［インポート／エクスポート］をクリックして、［ユーザ管理データ］をクリックします。



2. ［インポート］をクリックします。



3. ［参照］をクリックしてインポートするファイルを選択し、［OK］をクリックします。



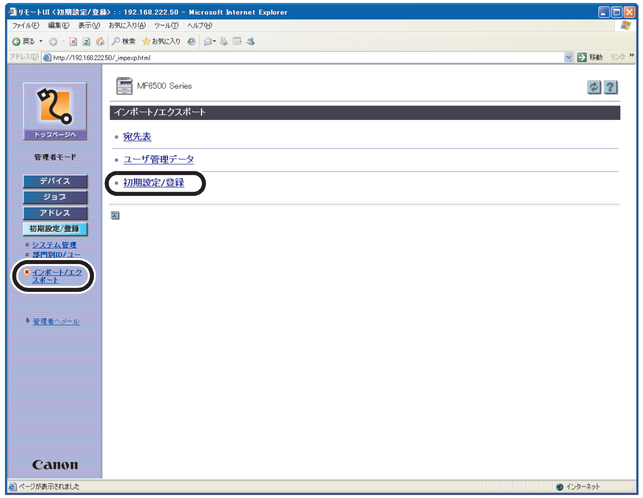
メモ

- 新しいファイルの内容を登録すると、現在登録されているユーザ管理データに新しいユーザ管理データが上書きされます。
- 他のジョブを実行中は、インポートを行わないでください。

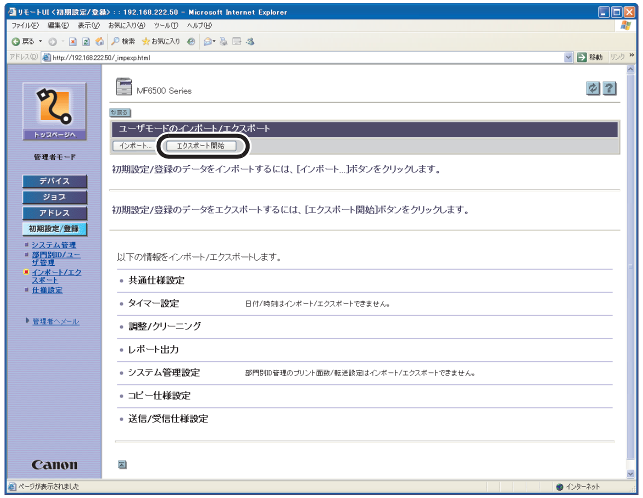
■ 初期設定／登録の設定をファイルに保存する（エクスポート）

初期設定／登録の設定内容をファイルとしてパソコンに保存できます。

1. ［初期設定／登録］をクリックし、メニューから［インポート／エクスポート］をクリックして、［初期設定／登録］をクリックします。



2. ［エクスポート開始］をクリックします。



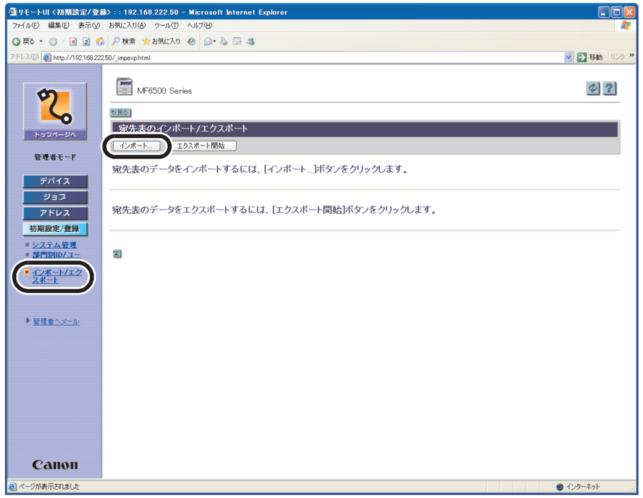
3. 画面の指示に従って、ファイルの保存場所を指定します。

指定した場所に初期設定／登録の設定ファイルが保存されます。

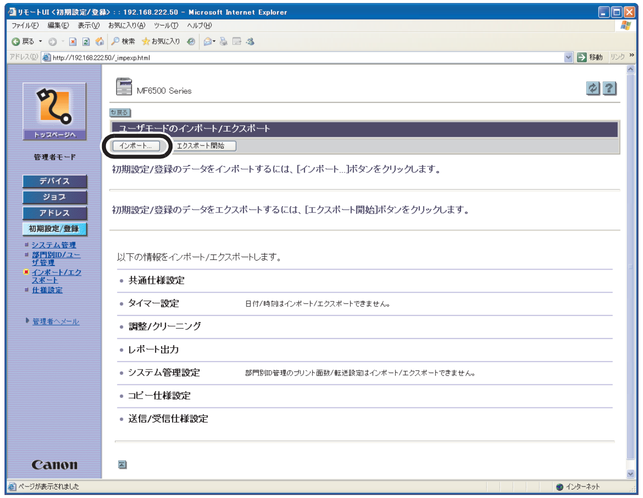
■ 初期設定／登録の設定をファイルから読み込む（インポート）

パソコンに保存したファイルから、初期設定／登録の設定内容を本製品に読み込むことができます。

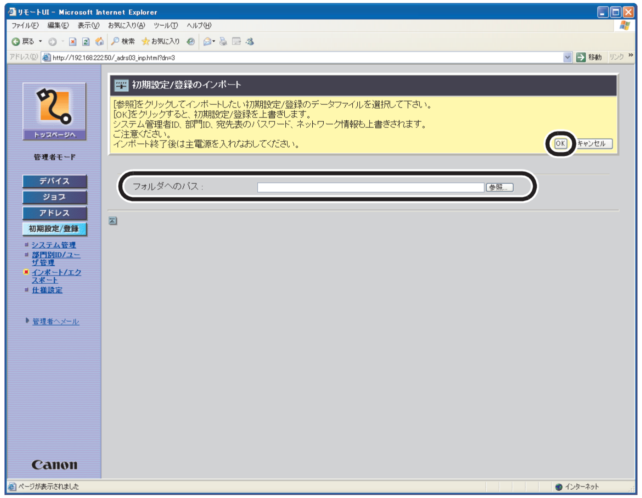
1. ［初期設定／登録］をクリックし、メニューから［インポート／エクスポート］をクリックして、［初期設定／登録］をクリックします。



2. ［インポート］をクリックします。



3. ［参照］をクリックしてインポートするファイルを選択し、［OK］をクリックします。



メモ

- システム管理者 ID、部門 ID、ネットワーク情報なども上書きされます。
- インポートした初期設定／登録の設定は、本製品の主電源スイッチを入れなおしたあとに有効になります。インポートを実行したあと、一度本製品の主電源を切り、10 秒後に電源を入れなおしてください。
- 初期設定／登録のインポート後は、本製品の主電源スイッチを入れなおすまでリモート UI からの操作を行うことができません。一度本製品の主電源を切り、10 秒後に電源を入れなおしたあと、リモート UI を再起動してください。
- 他のジョブを実行中は、インポートを行わないでください。

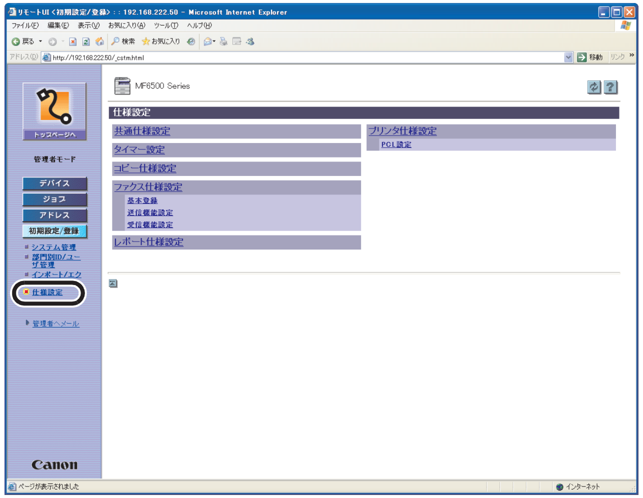
デバイスの仕様設定をする

リモート UI から、デバイスの仕様を設定することができます。

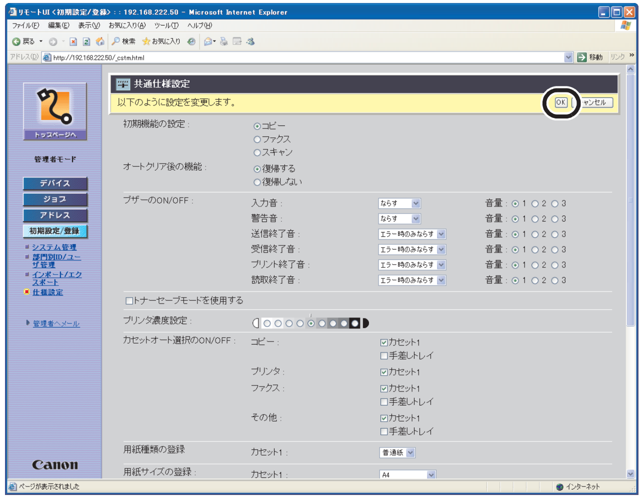
メモ

- ［仕様設定］は、本製品の操作パネルからも設定できます。詳細については、操作ガイド（基本編）「第 13 章 各種機能の登録／設定」を参照してください。
- ［仕様設定］は、管理者モードでログオンした場合のみ設定できます。

1. ［初期設定／登録］をクリックし、メニューから［仕様設定］をクリックして、設定する項目をクリックします。



2. 各項目を設定したあと、［OK］をクリックします。



例）［共通仕様設定］画面

メモ

ネットワーク設定の変更は、本製品の主電源スイッチを入れなおしたあとに有効になります。設定を変更したあと、一度本製品の主電源を切り、10 秒後に電源を入れなおしてください。

5 システムモニタ

ジョブおよび本製品の状態を確認する

システムモニタを使って、送受信結果の表示や処理中のコピー、ファクス、プリントジョブの状態を確認できます。

送受信の結果を確認する

1. ［システムモニタ］を押します。
2. ［◄－］または［＋►］を押して<通信履歴>を選択し、［OK］を押します。
3. ［◄－］または［＋►］を押して、送受信履歴を表示します。
4. ［ストップ］を押して待受画面に戻ります。

   <システム管理設定>で<ジョブ履歴表示>を<しない>に設定している場合は、送受信履歴はディスプレイに表示されません。

メモリに保存された送受信ジョブを確認／削除する

1. ［システムモニタ］を押します。
2. ［◄－］または［＋►］を押して<通信状況>を選択し、［OK］を押します。
3. ［◄－］または［＋►］を押してジョブを選択し、［OK］を押します。

   < TX 待機中>、< TX 通信中>、または< RX 通信中>が表示された場合は、手順 6 に進んでください。

4. ［◄－］または［＋►］を押して<中止>または<転送>を選択し、［OK］を押します。

   <転送>：受信ジョブを送信します。
   <キャンセル>：原稿を削除するには、手順 6 に進んでください。

   メモ
   メモリ内の受信ジョブのみ、<転送>を選択することができます。

5. テンキーを使って宛先を入力し、［OK］を押します。

   選択した原稿の送信が開始します。

6. ［◄－］を押して<はい>を選択し、［OK］を押します。
7. ［ストップ］を押して待受画面に戻ります。

コピー状況を確認／削除する

1. ［システムモニタ］を押します。
2. ［◄−］または［+►］を押して<コピー状況>を選択し、［OK］を押します。
3. ［◄−］または［+►］を押してジョブを表示します。
   コピージョブを削除する場合は［OK］を押し、［◄−］を押して〈はい〉を選択します。
4. ［ストップ］を押して待受画面に戻ります。

プリント状況を確認／削除する

1. ［システムモニタ］を押します。
2. ［◄−］または［+►］を押して<プリント状況>を選択し、［OK］を押します。
3. ［◄−］または［+►］を押してジョブを表示します。
   プリントジョブを削除する場合は［OK］を押し、［◄−］を押して〈はい〉を選択します。
4. ［ストップ］を押して待受画面に戻ります。

レポート状況を確認／削除する

1. ［システムモニタ］を押します。
2. ［◄−］または［+►］を押して<レポート状況>を選択し、［OK］を押します。
3. ［◄−］または［+►］を押してジョブを表示します。
   レポートジョブを削除する場合は［OK］を押し、［◄−］を押して〈はい〉を選択します。
4. ［ストップ］を押して待受画面に戻ります。

6 各種レポート／リスト

レポート／リストの概要

本製品で、以下のレポートとリストをプリントできます。

レポート／リスト	説明
ワンタッチダイヤルリスト 1	ワンタッチダイヤルに登録された相手先の一覧です。
ワンタッチダイヤルリスト 2	［ワンタッチダイヤルリスト］の詳細データの一覧です。
短縮ダイヤルリスト 1	短縮ダイヤルに登録された相手先の一覧です。
短縮ダイヤルリスト 2	［短縮ダイヤルリスト］の詳細データの一覧です。
グループダイヤルリスト	グループダイヤルに登録されたグループの一覧です。
ユーザデータリスト	現在の設定の一覧および登録された発信元情報です。
通信管理レポート	最新 40 件の送受信履歴です。自動的にプリントするよう設定できます。
送信結果レポート	送信結果です。自動的にプリントするよう設定できます。
受信結果レポート	受信結果です。自動的にプリントするよう設定できます。

メモ

- ユーザデータリストをプリントするには、＜レポート出力＞にある＜リストプリント＞から＜ユーザデータリスト＞を選択します。手動で通信管理レポートをプリントするには、同じ手順で＜ユーザデータリスト＞の代わりに＜通信管理レポート＞を選択します。
- ワンタッチダイヤルリスト 1、短縮ダイヤルリスト 1、およびグループダイヤルリストをプリントするには、＜レポート出力＞にある＜リストプリント＞の＜宛先表リスト＞からそれぞれ選択します。
- ワンタッチダイヤルリスト 2 と短縮ダイヤルリスト 2 をプリントするには、＜レポート出力＞にある＜リストプリント＞の＜宛先表詳細リスト＞からそれぞれ選択します。

レポートを自動的にプリントする

送信結果レポート、受信結果レポート、通信管理レポートを自動的にプリントするよう設定することができます。

■ 送信結果レポート

1. ［初期設定／登録］を押します。
2. ［◄ー］または［＋►］を押して＜レポート出力＞を選択し、［OK］を押します。
3. ＜仕様設定＞が表示されていることを確認し、［OK］を押します。
4. ＜送信結果レポート＞が表示されていることを確認し、［OK］を押します。
5. ［◄ー］または［＋►］を押して設定項目を選択し、［OK］を押します。
   ＜エラー時のみプリント＞：送信エラーが起きた場合のみレポートをプリントします。
   ＜プリントする＞：原稿を送信するたびにレポートをプリントします。
   ＜プリントしない＞：レポートをプリントしません。手順 7 に進んでください。
6. ＜送信原稿の表示＞が表示されていることを確認し、［◄ー］または［＋►］を押して＜つける＞または＜つけない＞を選択し、［OK］を押します。
   ＜つけない＞：レポートのみをプリントします。
   ＜つける＞：送信原稿の 1 ページ目をレポートと一緒にプリントします。
7. ［ストップ］を押して待受画面に戻ります。

レポート項目

送信結果レポートには、以下の項目が表示されます。

- 送信結果の説明
- 受付番号
- 相手先アドレス：受取人のファクス／電話番号
- 相手先略称：ワンタッチダイヤルや短縮ダイヤルに登録されている名称
- 開始時刻：通信した時刻
- 通信時間：通信にかかった時間
- 枚数：送信ページ数

- **通信結果**
  - ・OK：通信は正常に終了しました。
  - ・NG：通信できませんでした。
  - ・STOP：終了前に通信が手動でキャンセルされました。
  - ・話し中でした：話し中か、相手先が応答しませんでした。
- **エラー番号：エラー番号の詳細については、操作ガイド（基本編）「第 12 章 困ったときには」を参照してください。**

■ 受信結果レポート

1. **［初期設定／登録］を押します。**

2. **［◄ –］または［+ ►］を押して＜レポート出力＞を選択し、［OK］を押します。**

3. **＜仕様設定＞が表示さていること確認し、［OK］を押します。**

4. **［◄ –］または［+ ►］を押して＜受信結果レポート＞を選択し、［OK］を押します。**

5. **［◄ –］または［+ ►］を押して設定項目を選択し、［OK］を押します。**

＜エラー時のみプリント＞：受信エラーが起きた場合のみレポートをプリントします。
＜プリントする＞：原稿を受信するたびにレポートをプリントします。
＜プリントしない＞：レポートをプリントしません。

6. **［ストップ］を押して待受画面に戻ります。**

レポート項目

受信結果レポートには、以下の項目が表示されます。

- **通信の説明**
- **受付番号**
- **相手先アドレス：受信側のファクス／電話番号**
- **相手先 ID：ワンタッチダイヤルまたは短縮ダイヤルに登録されている名称**
- **開始時刻：通信した時刻**
- **通信時間：通信にかかった時間**
- **枚数：受信ページ数**

- **通信結果**
  - ・OK：受信は正常に終了しました。
  - ・NG：受信できませんでした。
  - ・STOP：終了前に受信が手動でキャンセルされました。
- **エラー番号：エラー番号の詳細については、操作ガイド（基本編）「第 12 章 困ったときには」を参照してください。**

■ 通信管理レポート

1. **［初期設定／登録］を押します。**

2. **［◄–］または［+►］を押して<レポート出力>を選択し、［OK］を押します。**

3. **<仕様設定>が表示されていること確認し、［OK］を押します。**

4. **［◄–］または［+►］を押して<通信管理レポート>を選択し、［OK］を押します。**

5. **<40通信で自動プリント>が表示されていること確認し、［OK］を押します。**

6. **［◄–］または［+►］を押して希望の設定を選択し、［OK］を押します。**

<プリントする>：40 通信ごとにレポートをプリントします。
<プリントしない>：レポートをプリントしません。手順 9 に進んでください。

7. **<送信／受信分離>が表示されていることを確認し、［OK］を押します。**

8. **［◄–］または［+►］を押して<する>または<しない>を選択し、［OK］を押します。**

<しない>：レポートの送受信の結果を順番にプリントします。
<する>：レポートの送受信の結果を別々にプリントします。

9. **［ストップ］を押して待受画面に戻ります。**

レポート項目

通信管理レポートには、以下の項目が表示されます。

- **開始時刻：通信した時刻**
- **相手先：相手先のファクス／電話番号、ワンタッチダイヤル、または短縮ダイヤルに登録されている名称**
- **NO：通信の受付番号**
- **モード：通信、エラー訂正モード**
- **枚数：送信ページ数**
- **通信結果：通信結果と通信時間**
  - ・OK：通信は正常に終了しました。
  - ・NG：通信できませんでした。

7 困ったときには

一般的なトラブル

電源が入らない

Q	**電源コードは確実に差し込まれていますか？**
A	電源コードが、本製品とコンセントに確実に差し込まれているか確認してください。本製品が電源タップに接続されている場合は、電源タップがコンセントに接続され、スイッチが入っているか確認してください。
Q	**電源コードから電気は供給されていますか？**
A	別の電源コードを使うか、コードが途中で切れていないか電圧計で確認してください。
Q	**主電源スイッチは入っていますか？**
A	主電源スイッチをオンにしてください。

エラーランプが点灯する

Q	**本製品に用紙が正しくセットされていますか？カセットまたは手差しトレイに用紙がありますか？**
A	紙づまりが起きている場合は、つまった用紙を取り除いてください。(→ 操作ガイド（基本編）「第 12 章 困ったときには」)カセットまたは手差しトレイに用紙がない場合は、用紙を補給してください。(→ スタートアップガイド「本製品のセットアップ」)
A	紙づまりが起きていない場合や用紙がカセットまたは手差しトレイにセットされている場合は、本製品の主電源のスイッチをオフにし、10 秒以上待ってからスイッチをオンにしてください。問題が解決するとエラーランプが消え、ディスプレイは待受画面に戻ります。エラーランプが点滅したままの場合は、電源コードを抜き、お近くのキヤノン販売店またはキヤノンお客様相談センターにご連絡ください。

ディスプレイに何も表示されない

Q	**電源コードは確実に差し込まれていますか？**
A	電源コードを抜き、5 秒ほど待ってからコードを差し込んでください。ディスプレイに何も表示されない場合は、お近くのキヤノン販売店またはキヤノンお客様相談センターにご連絡ください。
Q	**主電源スイッチは入っていますか？**
A	主電源スイッチをオンにしてください。
Q	**スリープモードになっていませんか？**
A	操作パネルの［ON/OFF］を押して、スリープモードを解除してください。

給紙のトラブル

正常に給紙されない

Q	**用紙は正しくセットされていますか？**
A	用紙が正しくセットされているか確認してください。（→スタートアップガイド「本製品のセットアップ」）
Q	**用紙を入れすぎていませんか？**
A	用紙の枚数が適切か確認してください。（→操作ガイド（基本編）「第 3 章 用紙の取り扱い」）

用紙が重なって送られる

Q	**用紙は正しくセットされていますか？**
A	用紙が正しくセットされているか確認してください。（→スタートアップガイド「本製品のセットアップ」）
Q	**用紙を入れすぎていませんか？**
A	用紙の枚数が適切か確認してください。（→操作ガイド（基本編）「第 3 章 用紙の取り扱い」）
Q	**セットされた用紙は 1 種類だけですか？**
A	1 種類の用紙のみをセットしてください。
A	本製品に適した用紙がセットされているか確認してください。（→操作ガイド（基本編）「第 3 章 用紙の取り扱い」）
A	用紙がなくなってから補給してください。異なった用紙を混ぜないでください。

紙づまりが繰り返し起こる

Q	**正しい用紙がセットされていますか？**
A	本製品に適した用紙がセットされているか確認してください。（→操作ガイド（基本編）「第 3 章 用紙の取り扱い」）

ファクスのトラブル

■ 送信時のトラブル

ファクスが送信できない

Q	**本製品が過熱していませんか？**
A	電源コードを抜き 5 分ほど放置して冷やしてください。電源コードを差し込み、もう一度送信してみてください。
Q	**主電源スイッチを入れたばかりですか？**
A	原稿の読み込みができる状態になるまで、しばらくお待ちください。
Q	**電話回線の種類（ダイヤル／プッシュ）は正しく設定されていますか？**
A	電話回線の種類が正しく設定されているか確認してください。（→スタートアップガイド「ファクス送信の設定」）
Q	**ファクスモードになっていますか？**
A	[ファクス]を押してファクス待機中の画面を表示してください。
Q	**原稿は正しくセットされていますか？**
A	原稿が正しくセットされているか確認してください。（→操作ガイド（基本編）「第 2 章 原稿の取り扱い」）
Q	**入力したワンタッチダイヤルキーまたは短縮ダイヤル番号は正しく登録されていますか？**
A	ワンタッチダイヤルキーまたは短縮ダイヤル番号が正しく登録されているか確認してください。（→操作ガイド（基本編）「第 4 章 ファクスを送信する」）

Q **正しい番号にダイヤルしましたか？**

A 番号が正しいか確認してください。

Q **スリープモードになっていませんか？**

A スリープモードでは原稿は読み込まれません。スリープモードを解除するには、操作パネルの［ON/OFF］を押してください。

Q **相手機の記録紙がなくなっていませんか？**

A 記録紙がなくなっていないか、相手先に確認してください。

Q **メモリから別の原稿を送信中ではありませんか？**

A 送信が終わるまでお待ちください。

Q **通信中にエラーが発生しませんでしたか？**

A 操作パネルのディスプレイにエラーメッセージが表示されていないか確認してください。（→操作ガイド（基本編）「第 12 章困ったときには」）

A 通信管理レポートをプリントして、エラーが発生していないか確認してください。
（→通信管理レポート：P.6-5）

Q **電話線は正しく接続されていますか？**

A 電話線が正しく接続されているか確認してください。
（→スタートアップガイド「本製品のセットアップ」）

Q **電話回線は正常ですか？**

A ［オンフック］を押したとき、または本製品に接続されている外付け電話機の受話器を取ったときに、発信音が聞こえるか確認してください。発信音がない場合は、お近くの電話会社にお問い合わせください。

Q **相手機は G3 機ですか？**

A 相手機が本製品と互換性があるか確認してください。

Q **エラー送信レポートに<話し中でした>と表示されていますか？**

A ダイヤルしたファクスが使用中です。時間をおいて送信しなおしてください。

A 相手機が動作していません。相手先に連絡して、ファクスを確認してもらってください。

Q	相手機が 35 秒以内に応答しましたか？
A	相手先に連絡して、ファクスを確認してもらってください。海外へ送信する場合は、登録した番号にポーズを挿入してください。（→海外にファクスを送る（ポーズの挿入）: P.1-5）

Q	通信中／メモリランプが点灯していますか？
A	外付け電話機が使用中です。外付け電話機の通話が終了するまでお待ちください。

送信しようとするとメモリがすぐにいっぱいになる

Q	<スーパーファイン>または<ウルトラファイン>で送信していませんか？
A	細かい文字や写真のない原稿の場合は、画質（解像度）を<標準>に設定して送信してください。
A	細かい文字や写真のある原稿の場合は、メモリ送信を使わずにダイレクト送信してください。

Q	メモリ残量が少なくなっていませんか？
A	メモリ内に蓄積されているジョブをプリント、送信、または削除してください。

送信したファクスに汚れがある

Q	相手機は正常に動作していますか？
A	コピーをとって本製品の動作を確認してください。コピーがきれいな場合は、受信側のファクスに問題がある可能性があります。コピーが汚れている場合は、原稿台ガラスまたは読み取りエリアを清掃してください。(→操作ガイド（基本編）「第 11 章 日常のメンテナンス」)

Q	原稿は正しくセットされていますか？
A	原稿が正しくセットされているか確認してください。(→操作ガイド（基本編）「第 2 章 原稿の取り扱い」)

相手の受信原稿が薄い

Q	**濃度が< - 薄>側に設定されていますか？**
A	濃度を<濃 + >側に設定します。
Q	**原稿台ガラスや読み取りエリアはきれいですか？**
A	原稿台ガラスや読み取りエリアがきれいか確認してください。

送信速度が遅い

Q	**画質（解像度）が<ファイン>、<スーパーファイン>、<ウルトラファイン>に設定されていませんか？**
A	画質（解像度）を<標準>にすると送信時間が短くなります。
Q	**ECM（エラー訂正モード）が<する>に設定されていませんか？**
A	ECM は通信中にエラーを訂正するため、回線のトラブルがあると通常より送信速度が遅くなります。ECM を<しない>に設定してください。

ECM を使って送信できない

Q	**相手機は ECM に対応していますか？**
A	相手機が ECM に対応していない場合は、エラー確認をしない通常のモードで原稿を送信してください。

送信中にエラーが頻発する

Q	**電話回線の状態は良好ですか？確実に接続されていますか？**
A	電子レンジなど、電磁波を発生する機器が近くにないか確認してください。
A	通信速度を落としてください。（→操作ガイド（基本編）「第 13 章 各種機能の登録／設定」）

受信時のトラブル

ファクスを自動受信できない

Q	**自動受信に設定されていますか？**
A	自動受信するには、受信モードを< FAX/TEL >、<自動>または<留守 TEL >に設定します。<留守 TEL >に設定してある場合は、留守番電話機が本製品に接続され、応答メッセージが適切に録音された状態で電源が入っているか確認してください。（→受信モードを設定する：P.1-7）
Q	**メモリ残量が少なくなっていませんか？**
A	メモリ内に蓄積されているジョブをプリント、送信、または削除してください。
Q	**受信中にエラーが発生しましたか？**
A	操作パネルのディスプレイにエラーメッセージが表示されていないか確認してください。（→操作ガイド（基本編）「第 12 章 困ったときには」）
A	通信管理レポートをプリントして、エラーが発生していないか確認してください。（→通信管理レポート：P.6-5）
Q	**用紙はセットされていますか？**
A	用紙がセットされているか確認してください。（→スタートアップガイド「本製品のセットアップ」）
Q	**電話回線は正しく接続されていますか？**
A	ケーブルが正しく接続されていることを確認してください。（→スタートアップガイド「本製品のセットアップ」）

電話とファクスが自動的に切り替わらない

Q	**電話とファクスが自動的に切り替わるよう設定されていますか？**
A	自動的に切り替えるには、受信モードを＜ FAX/TEL ＞または＜留守 TEL ＞に設定する必要があります。＜留守 TEL ＞に設定してある場合は、留守番電話機が本製品に接続され、応答メッセージが適切に録音された状態で電源が入っているか確認してください。(→受信モードを設定する：P.1-7)
Q	**メモリ残量が少なくなっていませんか？**
A	メモリ内に蓄積されているジョブをプリント、送信、または削除してください。
Q	**受信中にエラーが発生しましたか？**
A	操作パネルのディスプレイにエラーメッセージが表示されていないか確認してください。(→操作ガイド（基本編）「第 12 章 困ったときには」)
A	通信管理レポートをプリントして、エラーが発生していないか確認してください。(→通信管理レポート：P.6-5)
Q	**用紙はセットしてありますか？**
A	用紙がセットされているか確認してください。(→スタートアップガイド「本製品のセットアップ」)
Q	**相手機は、受信信号がファクスであることを本製品に知らせる切替信号を送信できますか？**
A	この機能に対応していないファクス機もあります。対応していない場合は、ファクスは手動で受信してください。

手動受信できない

Q	**手動受信に設定されていますか？**
A	受信モードを＜手動＞に設定してください。(→受信モードを設定する：P.1-7)
A	＜ファクス仕様設定＞の＜受信モード選択＞で＜自動受信切り替＞が＜する＞に設定してある場合は、受信モードが＜手動＞に設定されていても、自動で受信されます。(→操作ガイド（基本編）「第 13 章 各種機能の登録／設定」)
Q	**受話器を置いたあとに、［スタート］を押したりリモート受信 ID を入力したりしていませんか？**
A	受話器を置く前に、［スタート］を押すかリモート受信 ID を入力してください。先に受話器を置くと、通信が切れてしまいます。

きれいにプリントできない

Q	**トナーが少なくなっていたり、片寄ったりしていませんか？**
A	カートリッジを取り外して 5、6 回ゆっくりと振り、トナーを均一にならします。問題が解決しない場合は、カートリッジを交換してください。（→操作ガイド（基本編）「第 11 章 日常のメンテナンス」）
Q	**正しい用紙がセットされていますか？**
A	本製品に適した用紙がセットされているか確認してください。（→操作ガイド（基本編）「第 3 章 用紙の取り扱い」）
Q	**相手機は正常に動作していますか？**
A	相手機の読み取りガラスが汚れていないか確認してもらってください。
Q	**トナーセーブモードになっていませんか？**
A	＜共通仕様設定＞の＜トナーセーブモード＞を＜しない＞に設定してください。（→操作ガイド（基本編）「第 13 章 各種機能の登録／設定」）

プリントできない

Q	**トナーカートリッジのシーリングテープは外しましたか？**
A	トナーカートリッジのシーリングテープが外されているか確認してください。（→スタートアップガイド「本製品のセットアップ」）
Q	**カートリッジは正しくセットされていますか？**
A	トナーカートリッジが正しくセットされているか確認してください。（→スタートアップガイド「本製品のセットアップ」）
Q	**カートリッジにトナーは残っていますか？**
A	トナーカートリッジを交換してください。（→操作ガイド（基本編）「第 11 章 日常のメンテナンス」）

Q	**正しい用紙がセットされていますか？**
A	本製品に適した用紙がセットされているか確認してください。(→操作ガイド（基本編）「第 3 章 用紙の取り扱い」)
A	<共通仕様設定>の<用紙サイズの登録>を変更してください。(→操作ガイド（基本編）「第 13 章 各種機能の登録／設定」)

画像に汚点またはムラがある

Q	**電話回線の状態は良好ですか？確実に接続されていますか？**
A	このようなトラブルを解決するには、ECM（エラー訂正モード）を使用してください。ただし、電話回線の状態が悪い場合は、再度受信しなければならないことがあります。再度送信してもらってください。
Q	**相手機は正常に動作していますか？**
A	相手機の読み取りガラスが汚れていないか確認してもらってください。
Q	**トナーが少なくなっていたり、片寄ったりしていませんか？**
A	カートリッジを取り外して 5、6 回ゆっくりと振り、トナーを均一にならします。問題が解決しない場合は、トナーカートリッジを交換してください。(→操作ガイド（基本編）「第 11 章 日常のメンテナンス」)

ECM（エラー訂正モード）を使って受信できない

Q	**相手機は ECM に対応していますか？**
A	相手機が ECM に対応していない場合は、エラーチェックをしない通常モードで受信されます。

受信速度が遅い

Q	**ECM が<する>に設定されていませんか？**
A	ECM は通信中にエラーを訂正するため、回線のトラブルがあると通常より受信速度が遅くなります。ECM を<しない>に設定してください。

ファクス 1
コピー 2
ネットワーク 3
リモート UI 4
システムモニタ 5
各種レポート／リスト 6
困ったときには 7
付録 8

情報サービスからファクスを受信できない

Q	**電話回線の種類はプッシュ回線に設定されていますか？**
A	ダイヤル回線に設定されている場合は、［トーン］を押して一時的にトーン発信に切り替えてください。
Q	**相手から、「受信するように」などの依頼がありましたか？**
A	受信する直前に［スタート］を押してください。

受信中にエラーが頻発する

Q	**電話回線の状態は良好ですか？確実に接続されていますか？**
A	電子レンジなど、電磁波を発生する機器が近くにないか確認してください。
A	受信速度を落としてください。（→操作ガイド（基本編）「第 13 章 各種機能の登録／設定」）
Q	**相手機は正常に動作していますか？**
A	相手機が正常に動作しているか確認してもらってください。

目次
索引

コピーのトラブル

コピーができない

Q	**トナーカートリッジのシーリングテープは外しましたか？**
A	トナーカートリッジのシーリングテープが外されていることを確認してください。(→スタートアップガイド「本製品のセットアップ」)
Q	**トナーカートリッジは正しくセットされていますか？**
A	トナーカートリッジが正しくセットされていることを確認してください。(→スタートアップガイド「本製品のセットアップ」)
A	左カバーが確実に閉じられていることを確認してください。
Q	**原稿は正しくセットされていますか？**
A	原稿が正しくセットされているか確認してください。(→操作ガイド（基本編）「第 2 章 原稿の取り扱い」)
Q	**本製品に適した原稿ですか？**
A	本製品に適した原稿がセットされているか確認してください。(→操作ガイド（基本編）「第 2 章 原稿の取り扱い」)

プリントのトラブル

何もプリントされない

Q	**トナーカートリッジのシーリングテープは外しましたか？**
A	トナーカートリッジのシーリングテープが外されているか確認してください。（→スタートアップガイド「本製品のセットアップ」）
Q	**カートリッジにトナーは残っていますか？**
A	トナーカートリッジを交換してください。（→操作ガイド（基本編）「第 11 章 日常のメンテナンス」）

プリントが曲がっている

Q	**用紙は正しくセットされていますか？**
A	用紙が正しくセットされているか確認してください。（→スタートアップガイド「本製品のセットアップ」）
A	排紙口がふさがれていないか確認してください。

用紙がつまる

Q	**正しい用紙がセットされていますか？**
A	本製品に適した用紙がセットされているか確認してください。（→操作ガイド（基本編）「第 3 章 用紙の取り扱い」）

プリントの質が良くない

Q	**正しい用紙がセットされていますか？**
A	本製品に適した用紙がセットされているか確認してください。（→操作ガイド（基本編）「第 3 章 用紙の取り扱い」）
Q	**用紙の正しい面にプリントしていますか？**
A	用紙によっては裏と表があります。プリントの質が悪い場合は、用紙の別の面にプリントしてみてください。

プリントされた原稿に白い線がある

Q	**トナーが少なくなっていたり、片寄ったりしていませんか？**
A	カートリッジを取り外して 5、6 回ゆっくりと振り、トナーを均一にならします。問題が解決しない場合は、トナーカートリッジを交換してください。（→操作ガイド（基本編）「第 11 章 日常のメンテナンス」）

電話のトラブル

ダイヤルできない

Q	**電話回線は正しく接続されていますか？**
A	電話線コードが正しく接続されているか確認してください。（→スタートアップガイド「本製品のセットアップ」）
Q	**電源コードは確実に差し込まれていますか？**
A	電源コードが、本製品と電源コンセントに確実に差し込まれているか確認してください。本製品が電源タップに接続されている場合は、電源タップが電源に接続され、スイッチが入っているか確認してください。
Q	**主電源スイッチは入っていますか？**
A	主電源スイッチをオンにしてください。
Q	**電話回線の種類（ダイヤル／プッシュ）は正しく設定されていますか？**
A	電話回線の種類が正しく設定されているか確認してください。（→スタートアップガイド「ファクス送信の設定」）

通話中に電話が切れる

Q	**電話回線は正しく接続されていますか？**
A	電話線コードが正しく接続されているか確認してください。（→スタートアップガイド「本製品のセットアップ」）
Q	**電話線に不具合がありませんか？**
A	別の電話線コードを使って、電話線コードが正常かどうか確認してください。

電話が通じない、または間違った番号にかかる

Q	**電話番号を入力する前に、発信音を確認しましたか？**
A	電話番号を入力する前に、発信音を確認してください。発信音を確認する前に番号を入力した場合、通じなかったり、間違った番号にかかったりすることがあります。

ネットワークのトラブル

TCP/IP ネットワークからプリントできない

Q **本製品とケーブルは正しく接続されていますか？**

A 本製品を適切なケーブルでネットワークに接続してから、主電源を入れなおしてください。（→スタートアップガイド「ソフトウェアのインストール／アンインストール」）

Q **TCP/IP ネットワークは正常に設定されていますか？**

A IP アドレスが正しく設定されているか確認してください。IP アドレスが DHCP、BOOTP、または RARP で設定されている場合は、動作していることを確認してください。

Q **プリントに使うコンピュータは正しく設定されていますか？**

A 正しいプリンタドライバがインストールされていることを確認してください。（→スタートアップガイド「ソフトウェアのインストール／アンインストール」）

A コンピュータの［コントロールパネル］の［プリンタとFAX］または［プリンタ］で、本製品が［通常使うプリンタ］に設定されているか確認してください。

Q **プリントするファイル名は長すぎませんか？**

A ファイル名を短くしてください。通常、LPR（Windows 2000/XP の場合は、Microsoft TCP/IP 印刷）は、プリントに使用するアプリケーションソフト名やファイル名でジョブを送信します。ジョブ名が 255 バイトを越える場合は、送信できません。

プリンタのポート名が、［次のポートに印刷する］に表示されない

Q	**本製品とケーブルは正しく接続されていますか？**
A	本製品を適切なケーブルでネットワークに接続してから、主電源を入れなおしてください。（→スタートアップガイド「ソフトウェアのインストール／アンインストール」）
Q	**プリントに使うコンピュータは正しく設定されていますか？**
A	正しいプリンタドライバがインストールされていることを確認してください。（→スタートアップガイド「ソフトウェアのインストール／アンインストール」）
A	コンピュータの［コントロールパネル］の［プリンタとFAX］または［プリンタ］で、本製品が［通常使うプリンタ］に設定されているか確認してください。

カスタマーサポート

本製品は、メンテナンスフリーで安心してお使いいただけるように作られています。操作上問題が発生したときは、「第 7 章 困ったときには」を参照してください。それでも解決しない場合や点検が必要と考えられる場合には、お近くのキヤノン販売店またはキヤノンお客様相談センターにご連絡ください。

8 付録

用語集

A

ADF

自動給紙装置のことです。ファクス、コピー、およびスキャンする原稿を給紙します。

B

BOOTP（BOOTstrap Protocol）

TCP/IP ネットワーク上のサーバから各パソコンがネットワーク設定情報を自動的に取得するためのプロトコルです。BOOTP を利用すると、ホスト名、ドメイン名、IP アドレスなどを各パソコンが自動的に検出できます。

bps

一秒あたりのビット数です。ファクス機のデータ送受信速度を表します。

C

CNG

ファクス機が送信する信号で、ファクスの着信であることを識別します。受信機がこの信号を検出すると、ファクスの受信を自動的に開始します。ほとんどのファクス機は、CNG 信号を送信／検出します。

D

DHCP（Dynamic Host Configuration Protocol）

TCP/IP ネットワーク上のパソコンのネットワーク設定を自動的に行うプロトコルです。インターネットの標準プロトコルである TCP/IP のセットアップに必要な設定の多くは自動設定が可能です。

dpi

１インチあたりのドット数（dots per inch）で、プリンタの解像度を表す単位です。

E

ECM

エラー訂正モードです。ECM 対応ファクス機からの送受信の際に、システムやラインエラーを軽減する機能です。ECM は、電話回線の状態が良くない場所、または回線に干渉が頻発する場合に特に効果的です。

F

FAX/TEL 切り替え

この機能を使って、着信が電話かファクスかを自動的に検出するよう設定できます。着信がファクスの場合は、自動的に受信します。着信が電話の場合は、着信音が鳴ります。この機能を使って、１ 本の電話回線で電話とファクスが利用できます。

G

G3、グループ 3 ファクス機

CCITT/ITU-T による定義です。送信に必要なデータ量を減らして画像を送信するエンコード方式を採用しています。このため、送信時間が短くなります。G3 ファクス機は、1 ページを 1 分以内で送信できます。G3 ファクス機で利用するエンコード方式は、Modified Huffman (MH)、Modified READ (MR)、Modified Modified READ (MMR)、および Joint Bi-level Image expert Group (JBIG) です。

H

HTTP（Hypertext Transfer Protocol）

サーバと各パソコンの通信に使用される TCP/IP プロトコルです。HTML（Hyper Text Markup Language）形式のドキュメントをインターネット上で転送するために使用されます。

I

IP アドレス（Internet Protocol address）

インターネット上でパソコンを特定するために用いられる32ビットの数値によるアドレスです。128.121.4.5 のようにピリオドで 4 つに区切って記述します。

ITU-T

国際電気通信の標準を策定する委員会です。

L

LAN（Local Area Network）

同じ建物または比較的近い場所にあるサーバ、ワークステーション、パソコンを接続して構築されるネットワークシステムです。

LPD（Line Printer Daemon）

Daemon（デーモン）は特定のタスクを実行するため自動的に実行されるプログラムです。LPD は印刷ジョブの流れを制御するデーモンです。

M

MAC アドレス（Media Access Control address）

LAN に接続されたパソコン、ネットワークプリンタなどのネットワークアダプタに割り当てられた固有のハードウェアアドレスです。

R

RARP（Reverse Address Resolution Protocol）

ネットワークアダプタのアドレス（MAC アドレス）から IP アドレスを求めるのに使われるプロトコルです。

RAW

Windows 2000/XP/Server 2003で用いられる印刷アプリケーションです。LPD より高速で印刷できます。

T

TCP/IP（Transmission Control Protocol/Internet Protocol）

インターネットや WAN に接続するためのプロトコルです。

U

URL（Uniform Resource Locator）

インターネット上のウェブページなどの場所を特定する標準的な方法です。http://www.w3.org/default.html のように記述します。“http:” はウェブページにアクセスしようとしていること、“www.w3.org” はそのウェブページが格納されているサーバのアドレス、“default.html” はそのウェブページのトップページのファイル名を意味します。

あ

イーサネット

複数のパソコンを接続するための業界標準 LAN システムです。データは複数のパケットに分割されパソコン間を転送されるため、パケットは他のパケットと衝突することなくスムーズに宛先のパソコンに届きます。

インターネットプロトコル（Internet Protocol: IP）

インターネット上をデータがどのように転送されるかを記述したネットワーキングの一連の基本ルールです。インターネットプロトコルによってあるパソコンからのデータがパケットに分割され、特定の IP アドレスを持つ別のパソコンに届くようになります。

インタフェース

2 台のデバイスがお互いに通信できるようにする、デバイス間の接続を指します。本製品には USB インタフェースが搭載され、IBM や互換機に対応しています。

インタフェースケーブル

プリンタとコンピュータを接続するケーブルです。

インタフェースポート

本製品の背面にUSBポートが1つ搭載されています。本製品とコンピュータの接続にはこのポートにケーブルをつなぎます。

か

カーソル

本製品に番号や名前を登録するときに、ディスプレイに表示される、下線の記号です。

解像度

出力装置のドットの密度です。dpi で表します。解像度が低いと、文字や画像が荒く見えます。解像度が高いと、丸みや角がなめらかで、通常の活字のように見えます。解像度は、600 x 600 dpi のように横と縦のデータで表されます。

クッキー（Cookie）

ウェブサイトにアクセスしたときに、ユーザのパソコンに記憶されるファイルです。再度そのウェブサイトにアクセスしたときに、以前にもアクセスしたユーザであることがクッキーによって分かるため、サイトに自動的にアクセスしたり、サイトの機能をカスタマイズしたりするときに使われます。

グループダイヤル

複数のワンタッチダイヤルや短縮ダイヤルの番号を、グループとしてまとめてダイヤルできます。同じ原稿を複数の相手先に送信する場合、1 回のキー操作で複数の番号を入力できます。

ゲートウェイアドレス

ネットワークまたはウェブサイトの既定のアドレスです。単一のドメイン名とサイト入口が提供されます。

さ

サブネットマスク

TCP/IP ネットワーク上で、ある IP アドレスがどの下位グループ（サブネット）に属するかを決める方法です。同じサブネットに属するデバイスは、IP アドレスのプリフィクスが共通しています。ネットワークをサブネットに分割すると、セキュリティとパフォーマンスの両面で効果的です。

自動リダイヤル

ファクスの相手先が話し中または応答しない場合、あるいは送信中にエラーが発生した場合、一定の時間をおいて同じ番号に自動的にダイヤルします。

写真

中程度の色調で、写真などの原稿を送信またはコピーするときの設定です。

手動受信

外付け電話機を使ってすべての着信に応答する、ファクス受信方法です。受話器を取り、［スタート］を押してファクスを受信します。

手動リダイヤル

通常のダイヤル方法を使う場合、操作パネルの［リダイヤル］を押すだけで再度ダイヤルできます。最後にテンキーを使ってかけた番号がダイヤルされます。

スピードダイヤル

キーを数回押すだけでファクス／電話番号にダイヤルします。スピードダイヤルを使用するには、本製品に番号を登録する必要があります。ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤル、グループダイヤルも参照してください。

送信速度

電話回線を介してファクスが送られる速度です。bps も参照してください。

外付け電話機

受話器の代わりに、本製品に接続されている電話機です。外付け電話機を使って、ファクスを手動で受信できます。

た

タイマー送信

設定した時刻にファクスを送信できる機能です。

ダイヤル方法

ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤル、グループダイヤル、宛先表からの発信、リダイヤル、テンキーを使っての通常のダイヤルがあります。

短縮ダイヤル

［短縮］とテンキーを使って 2 桁の番号を押すだけで、ファクス／電話番号を自動的にダイヤルします。

通常ダイヤル

テンキーを使って、ファクス／電話番号をダイヤルします。

通信管理レポート

本製品で送受信されたファクスの記録です。

テンキー

操作パネル上の数字が書いてある丸いキーで、通常の電話機のキーと同じ配置です。

通常のダイヤルには、テンキーを使います。名前の登録や、短縮ダイヤル番号の入力にも使用します。

回線種類切り替え

お使いの電話回線（プッシュまたはダイヤル）の発信方法に合わせて、本製品を設定できます。

トーンキー

ダイヤル発信から一時的にトーン発信に切り替えることができるキーです。オンラインデータサービスを利用するには、トーン発信が必要なことがあります。

同報送信

1 回の操作で、複数の相手先に原稿を送信します。（本製品のメモリを利用します。）

トナー

トナーカートリッジに入っている、黒い樹脂コートされた粉末のことです。本製品の内部にある感光性ドラムの表面に、静電記録式の仕組みを利用してトナーを付けてプリントします。

トナー節約

印字品質をわずかに落として、トナーの消費量を少なくする機能です。

は

ファイルサーバ

LAN 経由で複数のパソコンがアクセスするパソコンまたはワークステーションです。ファイルサーバのハードディスクドライブは、各パソコンによって共有されます。

ファイン

小さい文字や線のある原稿用の画質（解像度）設定です。

プロキシサーバ

表示に時間がかかる、接続料金が必要などのリモートサーバ上のファイルの代理として、ファイルのキャッシュを提供するサーバです。通常wwwサーバを指し､URLを受け取ると要求されたファイルをキャッシュから提供します。必要なファイルがキャッシュにない場合は、リモートサーバに取りに行って提供します。このときキャッシュにも保存し、次に要求があったときはキャッシュ内のローカルファイルが提供されます。

プロトコル

ネットワークを流れるデータを制御する一連のルールです。FTP、DHCP、BOOTP、RARP、IPP、TCP/IP などがあります。

- DHCP（Dynamic Host Configuration Protocol）
  TCP/IP ネットワーク上で、クライアントのネットワーク設定を自動化するためのプロトコルです。TCP/IP（インターネットの標準プロトコル）の多くの設定が自動的に行われます。
- BOOTP（BOOTstrap Protocol）
  TCP/IP ネットワークのクライアントマシンが、ネットワーク設定情報をサーバから自動的に取得するためのプロトコルです。
  ホスト名、ドメイン名、IP アドレスなどの情報を自動的に取得できるので、これらを手動設定する必要がなくなります。
- RARP（Reserve Address Resolution Protocol）
  ネットワーク機器の MAC アドレスから IP アドレスを求めるためのプロトコルです。
- TCP/IP（Transmission Control Protocol/Internet Protocol）
  インターネットや WAN に接続するためのプロトコルです。

ポーズ

長距離電話番号を登録する場合、または一部の電話システムや内線番号から外線にかける場合に必要な区切り時間です。［ポーズ］を押すと、電話番号の間にポーズが挿入されます。

ま

モデム

電話回線で送信するためにデジタルデータを変換するデバイスです。受信元のモデムが、変換されたデータをコンピュータが理解できるデジタル形式に変換します。

ら

リモート UI（Remote User Interface）

ネットワーク接続されたパソコンから、Internet Explorer などのウェブブラウザを使って、本製品の機能を設定したり状態を確認できる機能です。離れた場所から本製品を操作できるので便利です。

リモート受信

本製品から離れたところにある外付け電話機で応答して、ファクスを受信します。リモート受信には、リモート受信 ID 番号を入力する必要があります。

リモート受信 ID

外付け電話機を使ってファクスを手動で受信する場合に必要な 2 桁の番号です。

レポート

本製品でプリントされた文書で、送受信されたファクスの情報が記載されています。

ログオン

認証のためユーザ ID とパスワードを入力して、パソコンのセッションまたはサービスへのアクセスを開始することです。

わ

ワンタッチダイヤル

ワンタッチダイヤルキーを 1 回押すだけで、ファクス／電話番号を自動的にダイヤルします。

ワンタッチダイヤルキー

1 つあるいはグループのファクス番号として登録できる、操作パネル上のキーです。番号またはグループを登録すると、キーを 1 回押すだけでダイヤルできます。

索引

消耗品のご注文先

販 売 先

電話番号

担当部門

担 当 者

サービス担当者 連絡先

販 売 店

電話番号

担当部門

担 当 者

キヤノン株式会社・キヤノンマーケティングジャパン株式会社

お客様相談センター
（全国共通番号）
050-555-90024

[受付時間]　〈平日〉9:00〜20:00
〈土日祝祭日〉10:00〜17:00
（1/1〜3は休ませていただきます）

※上記番号をご利用いただけない方は 043-211-9627 をご利用ください。
※IP電話をご利用の場合、プロバイダーのサービスによってつながらない場合があります。
※受付時間は予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

キヤノンマーケティングジャパン株式会社　〒108-8011　東京都港区港南2-16-6

FA7-8215　(010)